

報告・評価シート

資料6

【報告日 R8年 6月 12日】

【評価日 年 月 日】

項目	【事業所記入欄】							
1 施設概要	事業所名		freeva川戸		人員配置	日中		
	指定日		2021年12月1日			世話人 生活支援員		
	所在地		千葉市中央区川戸町 5 1 0 番地 1			1 2 人 4 人		
	定員数（共同生活援助）		1 0 人			(常勤換算後) (常勤換算後)		
	定員数（短期入所）		2 人			4 . 3 人 3 . 3 人		
	共同生活住居数		1 戸			看護師の配置 □有 (人) ☑無		
	【住居の内訳】		【定員数の内訳】			夜間		
	住居名：freeva川戸		1 0 名			夜間支援員		
	住居名：		名			1 3 人		
	住居名：		名			(常勤換算後)		
	住居名：		名			1 . 9 人		
	住居名：		名			看護師の配置 ☑有 (5 人) □無		
	2 利用者状況 (令和8年4月1日現在)	障害支援区分		人数		内訳	主な障害種別利用者人数（重複はそれぞれ記入）	
非該当		人		身体	総 数： 2人			
					主に日中GHで過ごす人数： 2人			
区分 1		人		知的	総 数： 2人			
					主に日中GHで過ごす人数： 2人			
区分 2		人		精神	総 数： 10人			
					主に日中GHで過ごす人数： 1 0 人			
区分 3		5 人		難病等	総 数： 人			
					主に日中GHで過ごす人数： 人			
区分 4		4 人		その他	障害特性		人数	
区分 5		1 人			医療的ケアが必要な者		1人	
区分 6		人			強度行動障害がある者		1人	
合計		人						
年齢		人数						
～20代		1 人						
30代		1 人						
40代		人						
50代		4 人						
60代～		4 人						

項目	評価の観点	【事業所記入欄】	評価・要望・助言（協議会記入欄）
3 利用者の主な日中の活動について	・GH内で主にどのような日中サービスを提供しているか。	・居室で過ごす利用者もいるが、大半の利用者はリビング等の共有スペースでマイペースに過ごされている。 ・通院同行や買い物支援 ・清掃 ・相談支援 ・調理、食事提供 ・服薬、金銭管理	
	・外部の日中活動サービス等の利用人数及び内容について。	B型作業所（5人） ・WAKU WORK（4人※うち1人掛け持ち）ほぼ通所先の食事、外出イベントの時のみ通所。 ・きらり（1人※在宅作業 WAKU WORKと掛け持ち） ・e-Team千葉みなと（1人※テレワーク）	
4 地域に開かれた運営について	・利用者に対して外出や余暇活動の支援に努めているか。	・散歩、カラオケ、ドライブ、商業施設外出、入居者誕生日特別外出 等 ・こころのふれあいフェスティバル参加 ・いちご狩り、お花見会、音楽祭、秋祭り、年越し 等	
	・家族や地域住民との交流の機会が確保されているか。	・日曜日の町内会ラジオ体操 ・自治会対抗運動会 ・事業所のイベントに招待（秋祭り等） ・地域の子供たち事業所の開放 ・町内会や子どもたちからは好評。職員や利用者からも明るくなって良いという声がある。陸の孤島になることを下げたいのでお互いを知るために14時～17時までで行っている。子どもにも利用者の特性を伝えている。	
	・体験的利用等のニーズに対応しているか。	入居や利用前に必要に応じて体験利用を受け入れている。	
	・土日を含めた常時の支援体制が確保されているか。	24時間365日常に職員2名体制で配置 イベント日等は増員	
	・地域連携推進会議の開催状況は。 ・地域連携推進会議の構成員に対する見学機会の提供状況は。	開催時期：R8.3.11(水) 10:30～11:30 参加者：利用者2人、別の利用者の家族1人、自治会長 大橋さん、中央区基幹 篠原さん、相談支援事業所さつき 三浦さん、freeva川戸 代表 安藤、白木、岡田 会議の内容：①freeva川戸事業所説明紹介 ②意見交換 ③今後の対応 地域連携推進会議の当日実施	

項目	評価の観点	【事業所記入欄】	評価・要望・助言（協議会記入欄）
5 支援体制の確保・質の確保について	・支援の質の確保・向上に努めているか。（研修の実施など）	千精協総会研修、セミナー研修、医介塾、他事業所見学 等	
	・実習生やボランティアを積極的に受け入れているか。	ボランティア 10人（イベントスタッフ、実習生、他事業所1日体験 等）	
	・災害時・緊急時の備えがなされているか。	防災訓練実施 備蓄品を倉庫に保管（乾パン、水）3日分 BCP策定 太陽光パネルによる電源確保、ポータブル発電機も用意している。コンセントが5つ、USBが3つくらいあるので8台くらいの携帯は受電可能。	
	・事故発生時の対応ができていますか。	前年度大きな事故無し 緊急時の対応チャートを作成している	
	・苦情対応ができていますか。	近隣住民から入居者に関する問い合わせ数回あり、都度説明して対応。 かかりつけ薬局からfreeva川戸の入居者が薬局利用者用の無料サーバーやトイレの無断利用等で困っている旨の連絡あり、代表取締役 安藤と担当訪看管理者 松岡で説明、謝罪対応。	
6 短期入所の併設について	地域で生活する障害者を積極的に受け入れているか。	前回提出6月末～現在 短期利用者計16人	
	・緊急支援等の受け入れに対応しているか。	・当法人の訪問看護利用者の状態が悪化した際に緊急短期利用受け入れ ・代表 安藤の旧知の伝手や基幹等からの相談で、現時点で行き場の無い方の受け入れ	
7 他事業所との連携	相談支援事業者や他のサービス事業所との連携を行っているか。	・当法人の相談支援事業所、訪問看護事業所の繋がりをはじめ、利用者の相談員、訪問看護師、主治医ともその都度情報共有を行っている	
8 その他	・事業所独自の取り組みの有無	・1Fのバリアフリー構造 ・地域行事への積極的な参加 ・イベント開催などでの地域住民、子供たちへの事業所開放 ・門限や玄関施設などの行動制限無し ・ピアスタッフや元入居者の雇用。業務委託。	

報告・評価シート

【報告日 2026年 6月 10日】
【評価日 年 月 日】

項目	【事業所記入欄】							
1 施設概要	事業所名		グループホームイノベル若葉下田		人員配置			
	指定日		2025年 3月 1日					
	所在地		千葉市 若葉 区下田町1096					
	定員数（共同生活援助）		20人					
	定員数（短期入所）		1人					
	共同生活住居数		2戸					
	【住居の内訳】		【定員数の内訳】					
	住居名：グループホームイノベル若葉下田A棟		10名					
	住居名：グループホームイノベル若葉下田B棟		10名					
	住居名：		名					
	住居名：		名					
	住居名：		名					
	2 利用者状況 (令和8年 5月30日現在)	障害支援区分		人数		内訳	主な障害種別利用者人数（重複はそれぞれ記入）	
非該当		0人		身体	総 数：		8人	
区分 1		0人			主に日中GHで過ごす人数：		2人	
区分 2		0人		知的	総 数：		8人	
区分 3		2人			主に日中GHで過ごす人数：		2人	
区分 4		9人		精神	総 数：		5人	
区分 5		2人			主に日中GHで過ごす人数：		0人	
区分 6		4人		難病等	総 数：		人	
合計		17人			主に日中GHで過ごす人数：		人	
年齢		人数		その他	障害特性		人数	
～20代		1人			医療的ケアが必要な者	0人		
30代		2人			強度行動障害がある者	0人		
40代		3人						
50代		4人						
60代～		7人						

グループホームイノベル若葉下田

項目	評価の観点	【事業所記入欄】	評価・要望・助言（協議会記入欄）
3 利用者の主な日中の活動について	・GH内で主にどのような日中サービスを提供しているか。	平日：通所されている利用者様が多く、GHで過ごされる利用者様は、4名～6名程になります。グループホーム内にて過ごされる利用者様は、散歩、共有スペースにて談話、職員付き添いでの買い物等を行っております。	
	・外部の日中活動サービス等の利用人数及び内容について。	通所サービス利用者人数17名中13名外部利用中。 生活介護①生活介護イノベル若葉下田（7名） ②ディアフレンズ③若葉泉の里④MAZEKOZE⑤アプリケアワークス蘇我⑥ドットステイ都賀 就労B①ジョブタス千城台②ドットワーク千城台③TODAY若松	
4 地域に開かれた運営について	・利用者に対して外出や余暇活動の支援に努めているか。	各個人への買い物支援は行っております。近隣の店で職員と一緒に買い物を楽しまれています。利用者様の中では、タクシーを利用し、外出されている方もいます。	
	・家族や地域住民との交流の機会が確保されているか。	隣の工場の人と挨拶を交わします。 R7に実施したクリスマス会では、近隣の中学生がお手伝いに来てくれました。 家族の面会は希望があればいつでも受け付けています。	
	・体験的利用等のニーズに対応しているか。	R8,3月に体験利用が1件ありました。本入所へ繋げたいとのご希望での体験利用でした。	
	・土日を含めた常時の支援体制が確保されているか。	土日の支援員は、1階2名・2階2名計4名体制で支援を行っております。職員が不足している場合は、Timee職員にて人員確保しています。（Timee応募条件は、障害者施設での経験がある方のみで、月に2日程度）	
	・地域連携推進会議の開催状況は。	R7.3/25第1回地域連携推進会議開催済み。利用者1名・利用者家族1名・福祉に知見のある方（連携薬局1名・訪問看護師1名・同法人施設管理者1名）市町村担当者（若葉区障害者基幹相談支援センター1名・四街道市基幹相談支援センター2名）GHイノベル若葉下田管理者1名・サービス管理責任者1名。施設を見てもらう（知ってもらう）をテーマに実施。地域の関係者は諸事情で欠席だったため、令和8年度は参加をお願いする予定です。	
	・地域連携推進会議の構成員に対する見学機会の提供状況は。	令和7年度地域連携推進会議にて、施設内の見学を行っております	

項目	評価の観点	【事業所記入欄】	評価・要望・助言（協議会記入欄）
5 支援体制の確保・質の確保について	・支援の質の確保・向上に努めているか。（研修の実施など）	身体拘束・虐待防止・感染についての内部研修を毎月行っております。	
	・実習生やボランティアを積極的に受け入れているか。	ボランティアの受け入れはありませんが、特定技能実習生2名（インドネシア、ネパール）R7.6月～施設で働いています。	
	・災害時・緊急時の備えがなされているか。	急な体調不良時への対応は、医療連携機関（訪問看護・病院等）へ報告・相談を行い、迅速に対応を行っております。	
	・事故発生時の対応ができているか。	施設内での事故発生時は、相談員・KP・千葉市・医療連携施設・病院への報告を行っております。事故内容は、誤薬・転倒・車椅子からの転落が多いです。R7の事故報告は12件です。夜勤を2名体制にし、ダブルチェックを強化しました。	
	・苦情対応ができていますか。	御家族様や地域住民からの苦情等は現在ありません。ご利用者様からは、他利用者様の大きな声でのクレームはあります。そのような苦情に対して、利用者様の面談を行い、都度対応を行っています。	
6 短期入所の併設について	地域で生活する障害者を積極的に受け入れているか。	昨年に降、短期入所利用がなかったのですが、今年4月から短期入所を利用される方がおります。継続利用される方もおり、短期利用者数は増えてきております。今後も短期利用者数を増やしていきたいとおもいます。	
	・緊急支援等の受け入れに対応しているか。	常に受け入れ体制をとっております。	
7 他事業所との連携	相談支援事業者や他のサービス事業所との連携を行っているか。	利用者様の特変時は、相談員へ連絡・報告・相談を行っております。	
8 その他	・事業所独自の取り組みの有無	レクリエーションにて、おやつ手作りを定期的に開催しております。ホットプレートを使用し、ホットケーキ・お好み焼きを職員と一緒に作ったり、揚げたてドーナツを作り提供しております。	

報告・評価シート

【報告日 2026年 6月 5日】
【評価日 年 月 日】

項目	【事業所記入欄】							
1 施設概要	事業所名	グループホームイノベル稲毛園生町		人員配置	日中			
	指定日	2025年 3月 1日			世話人	生活支援員		
	所在地	千葉市稲毛区園生町519-11			7 人	7 人		
	定員数（共同生活援助）	20 人			（常勤換算後）	（常勤換算後）		
	定員数（短期入所）	2 人			4.0 人	5.6 人		
	共同生活住居数	2 戸			看護師の配置	☐ 有（ 人） ☒ 無		
	【住居の内訳】	【定員数の内訳】			夜間			
	住居名：GHイノベル稲毛園生町A棟	10 名			夜間支援員			
	住居名：GHイノベル稲毛園生町B棟	10 名			10 人			
	住居名：	名			（常勤換算後）			
	住居名：	名			4.0 人			
	住居名：	名			看護師の配置	☐ 有（ 人） ☒ 無		
	2 利用者状況 (令和8年6月1日現在)	障害支援区分	人数		内訳	主な障害種別利用者人数（重複はそれぞれ記入）		
		非該当	0 人			身体	総 数：	6 人
区分 1		0 人		主に日中GHで過ごす人数： 5 人				
区分 2		0 人		知的		総 数：	11 人	
区分 3		1 人				主に日中GHで過ごす人数： 0 人		
区分 4		3 人		精神		総 数：	4 人	
区分 5		5 人				主に日中GHで過ごす人数： 4 人		
区分 6		10 人		難病等		総 数：	1 人	
合計		19 人				主に日中GHで過ごす人数： 0 人		
年齢		人数		その他		障害特性		人数
～20代		8 人			医療的ケアが必要な者	0 人		
30代		2 人			強度行動障害がある者	7 人		
40代		5 人						
50代		1 人						
60代～		3 人						

グループホームイノベル稲毛園生町

項目	評価の観点	【事業所記入欄】	評価・要望・助言（協議会記入欄）
3 利用者の主な日中の活動について	・GH内で主にどのような日中サービスを提供しているか。	平日の日中、通所などに行かれないご利用者様においては入浴介助やレクリエーションとしてオセロや麻雀などの余暇活動を行っています。また、ご利用者様の体調に合わせ散歩や買い物などの外出も行っています。 休日はみなさんと一緒に掃除や洗濯などを早々に片付け、おやつ作りや建物の特徴を生かしたボーリングなどを行っています。一緒に参加される方もいれば見るだけの方もおりますが、オープンにできることはご利用者様と一緒にやっています。	
	・外部の日中活動サービス等の利用人数及び内容について。	利用人数に関しては19名中13名が外部利用。（重複あり） 就労B型事業所→父の樹園1名、アビリティ1名。 生活介護→ラルゴ1名、畑町ガーデン1名、生活介護イノベル4名、サンタ1名、すばる1名、オリーブ亥鼻1名、でいまご貳番館2名、でいさくさべ1名、アブリエアワークス蘇我1名。 それぞれの事業所での活動に取り組まれています。	
4 地域に開かれた運営について	・利用者に対して外出や余暇活動の支援に努めているか。	休日など、ホームの裏手が「園生の森公園」なので時間の許す限り散策へ行ったり、買い物の用事があるときには同行していただくこともあります。	
	・家族や地域住民との交流の機会が確保されているか。	ご家族との連絡は常に行っています。報告、相談はお互いに遠慮なく行えています。 地域との交流も民生委員様にご協力いただきながら地域連携会議をはじめ行っております。 ホームのご飯を食いたいという希望があったため、利用者家族や民生委員様を招き、試食会を実施予定です。	
	・体験的利用等のニーズに対応しているか。	今月入居予定の方で満床となるため現在体験のご利用については募集しておりませんが、昨年9月に2Fをオープンさせてから10名の方に体験利用いただきすべての方においてご入居いただくことが出来ています。	
	・土日を含めた常時の支援体制が確保されているか。	平日は日中1ユニット2～3名、夜間2名。 休日は日中1ユニット4～5名、夜間2名での体制をとっています。	
	・地域連携推進会議の開催状況は。	令和7年度地域連携推進会議 開催：令和8年3月25日 参加：民生委員1名、ご家族2名、ご利用者様2名 内容：地域の方にGHの存在と障害について知っていただきました。	
	・地域連携推進会議の構成員に対する見学機会の提供状況は。	令和7年から準備を始め、町内会長様や民生委員様、稲毛区役所からのなど見学は常に受け入れていました。地域連携推進会議時のも、施設の見学を行いました。	

項目	評価の観点	【事業所記入欄】	評価・要望・助言（協議会記入欄）
5 支援体制の確保・質の確保について	・支援の質の確保・向上に努めているか。（研修の実施など）	法人内での毎月の法令順守に関する内部研修、事業所における虐待防止、感染症対策、権利擁護の研修も毎月行っています。その他必要に応じて研修を行っております。	
	・実習生やボランティアを積極的に受け入れているか。	（受け入れ人数など） 実習生 3人、ボランティア 0人 その他（ ） 人	
	・災害時・緊急時の備えがなされているか。	年2回の訓練やBCP・緊急対策マニュアルを作成し掲示してあります。またそれぞれを毎月のケア会議にて確認しています。非常用の水や食料も確保しています。	
	・事故発生時の対応ができていますか。	報告すべきことがおきたときには対応後、速やかに事故報告を上げています。令和7年度は離設に伴う2件の報告をしています。	
	・苦情対応ができていますか。	ご利用者様、ご家族、関係者の方からのご意見に対しては速やかに対応、事業所での判断が難しい時にはエリアの担当や本社から指示を受けながら対応しています。近隣地域の方からのご意見は今のところありませんが同様に対応していきます。	
6 短期入所の併設について	地域で生活する障害者を積極的に受け入れているか。	千葉市内のご利用者様を中心に16名受け入れています。	
	・緊急支援等の受け入れに対応しているか。	緊急として各区の基幹センターや、相談支援事業所からの依頼で昨年度は4名の当日依頼があり受け入れています。いつでも受け入れができるよう体制をとっています。	
7 他事業所との連携	相談支援事業者や他のサービス事業所との連携を行っているか。	各相談支援事業所様やほかのサービス事業所様とは些細なことでも報告や相談をさせていただいています。今後も密に相談や報告をさせていただきたく思っています。	
8 その他	・事業所独自の取り組みの有無	障害のある方でも家庭的な雰囲気の中で、自分らしく当たり前の生活が当たり前に出来ることを念頭にという気持ちは変わっていません。不得手なことや障害の特性で問題行動となってしまうと、どう支援に繋げていくかを職員全員で考えることのできる事業所になったと思います。	

報告・評価シート

【報告日2026年5月27日】

【評価日 年 月 日】

項目	【事業所記入欄】						
1 施設概要	事業所名	グループホームイノベル花見川		人員配置	日中		
	指定日	令和7年 3月 1日			世話人	生活支援員	
	所在地	千葉市花見川区長作町899			2人	2人	
	定員数（共同生活援助）	20			（常勤換算後）	（常勤換算後）	
	定員数（短期入所）	2			1.2人	2人	
	共同生活住居数	2戸			看護師の配置	☐ 有（ 人） ☐ 無	
	【住居の内訳】		【定員数の内訳】		夜間		
	住居名：イノベル花見川A棟	10名			夜間支援員		
	住居名：イノベル花見川B棟	10名			2人		
	住居名：イノベル花見川C棟	未開放			（常勤換算後）		
	住居名：	名			3.3人		
	住居名：	名			看護師の配置	☐ 有（ 人） ☐ 無	
	2 利用者状況 (令和8年5月28日現在)	障害支援区分	人数		内訳	主な障害種別利用者人数（重複はそれぞれ記入）	
非該当		人		身体		総 数：	人
区分 1		人				主に日中GHで過ごす人数： 人	
区分 2		人		知的		総 数：	8人
区分 3		人				主に日中GHで過ごす人数： 人	
区分 4		2人		精神		総 数：	1人
区分 5		4人				主に日中GHで過ごす人数： 1人	
区分 6		3人		難病等		総 数：	人
合計		9人				主に日中GHで過ごす人数： 人	
年齢		人数		その他	障害特性		人数
～20代		2人			医療的ケアが必要な者		人
30代		1人			強度行動障害がある者		人
40代		人					
50代		4人					
60代～		2人					

グループホームイノベル花見川

項目	評価の観点	【事業所記入欄】	評価・要望・助言（協議会記入欄）
3 利用者の主な日中の活動について	・GH内で主にどのような日中サービスを提供しているか。	（日中をGH内で過ごす利用者に対する支援・サービスの内容） ※主に居室で過ごすか、共有スペースで過ごすかについても記載ください。 ・居室で過ごす方3名 共有スペースで過ごす方6名 ・買い物同行（希望があれば随時実施など）、病院同行 ・レクレーション 季節ごとのイベントを毎月水曜日に実施） ・散歩（毎日2回午前、午後に実施、4人程度）	
	・外部の日中活動サービス等の利用人数及び内容について。	（利用人数（〇〇人中〇〇人等）、主な日中活動サービスの種類、利用先、休日の日中の過ごし方） ・生活介護 オリーブ 2名 ドットステイ 2名 LC四街道 1名 主に共有スペースで色塗りをしたりテレビを見たりして過ごされている	
4 地域に開かれた運営について	・利用者に対して外出や余暇活動の支援に努めているか。	（充実した地域生活を送るために実施している、外出や余暇活動など） 毎日2回 30分程度散歩実施	
	・家族や地域住民との交流の機会が確保されているか。	（実施内容） ・地元自治会の夏祭りに参加	
	・体験的利用等のニーズに対応しているか。	（月平均の体験利用者数、体験利用の事例） ・他施設からの転居に伴う体験 1名 1名程度/月	
	・土日を含めた常時の支援体制が確保されているか。	（職員の配置状況など） ・土日も、平日と同程度の職員数を配置し支援を実施。 ・レクリエーションを行う際は、支援に必要な人員が確保できるよう管理・調整を行っている。	
	・地域連携推進会議の開催状況は。	（開催時期及び方法、構成員（人数）、会議の内容など） 開催時期：R8.3.16(土) 10:00-12:00 構成員：利用者と家族、相談員小川さん、民生委員田近さん	
	・地域連携推進会議の構成員に対する見学機会の提供状況は。	（住居ごとの時期及び方法、見学内容など）日 時： R8.3.16（土） 12:00~13:00 参加者：民生委員田近さん 状況：民生委員田近さんより、住居内の共有スペースを利用した交流会の話がでた。	

項目	評価の観点	【事業所記入欄】	評価・要望・助言（協議会記入欄）
5 支援体制の確保・質の確保について	・支援の質の確保・向上に努めているか。（研修の実施など）	（実施・参加した研修名及び参加人数など） 毎月研修、中旬にケア会議実施	
	・実習生やボランティアを積極的に受け入れているか。	受け入れ実績あり	
	・災害時・緊急時の備えがなされているか。	（災害、急な体調不良などへの対応方法、訓練の実施状況など） ・災害時の対応マニュアルを整備し、職員に周知 ・避難訓練を実施 年2回（1月・7月）	
	・事故発生時の対応ができているか。	（市に報告すべき案件について、主な内容・件数など） 令和7年 1件 ①自室内のベットから転落	
	・苦情対応ができているか。	（利用者・家族・地域住民からの主な内容・件数など） R7 0件	
6 短期入所の併設について	地域で生活する障害者を積極的に受け入れているか。	（前年度の受入人数など）受け入れている ・3人 計6日 ・交流のある事業所に対して、短期入所を行っていることを伝え、利用の受入窓口を広げている。	
	・緊急支援等の受け入れに対応しているか。	（受入体制、受入の対応など） ・前年度、1人の緊受入を行った。 ・利用回数の多い利用者の情報を整理したり、利用していない時も定期的に連絡をとることで、必要な時に利用ができるよう利用状況の管理に	
7 他事業所との連携	相談支援事業者や他のサービス事業所との連携を行っているか。	（具体的な連携状況など） ドットライフ幕張（リハビリステーション、訪問看護）の方と利用者様の体調など毎週情報共有を行っています。	
8 その他	・事業所独自の取り組みの有無	（その他、独自の工夫点がある場合記入） ※設備のバリアフリー化、食事の提供内容の工夫など スロープやエレベータなど導入済み 食事について利用者様にニーズに合わせて提供	

報告・評価シート

【報告日 2026年 6月 12日】
【評価日 年 月 日】

項目	【事業所記入欄】										
1 施設概要	事業所名		エッセンス都賀		人員配置	日中					
	指定日		2022年 3月 1日			世話人		生活支援員			
	所在地		千葉県若葉区若松町489-1			7人		11人			
	定員数（共同生活援助）		23人			（常勤換算後）		（常勤換算後）			
	定員数（短期入所）		2人			5.6人		7.2人			
	共同生活住居数		3戸			看護師の配置		■有（1人） □無			
	【住居の内訳】		【定員数の内訳】			夜間					
	住居名：エッセンス都賀A		10名			夜間支援員					
	住居名：エッセンス都賀B		10名			11人					
	住居名：エッセンス都賀ステラミアα		5名			（常勤換算後）					
	住居名：		名			7人					
	住居名：		名			看護師の配置		■有（1人） □無			
	2 利用者状況 (令和8年6月12日現在)	障害支援区分		人数		内訳	主な障害種別利用者人数（重複はそれぞれ記入）				
		非該当		0人			身体	総 数：		5人	
区分1		0人		主に日中GHで過ごす人数：				5人			
区分2		0人		知的	総 数：		9人				
区分3		4人			主に日中GHで過ごす人数：		9人				
区分4		6人		精神	総 数：		13人				
区分5		2人			主に日中GHで過ごす人数：		13人				
区分6		6人		難病等	総 数：		3人				
合計		18人			主に日中GHで過ごす人数：		3人				
年齢		人数		その他	障害特性		人数				
～20代		5人			医療的ケアが必要な者		7人				
30代		2人			強度行動障害がある者		6人				
40代		2人									
50代		4人									
60代～		5人									

エッセンス都賀

項目	評価の観点	【事業所記入欄】 具体的な内容	評価・要望・助言（協議会記入欄）
3 利用者の主な日中の活動について	・GH内で主にどのような日中サービスを提供しているか。	・散歩(雨天除き午前1回&午後1回、5～10名参加) ・家庭菜園(土作りから始め種まき。随時水やり。10名程度参加) ・お茶会(午前1回&午後1回 5～10名程度参加) ・月4回食レク(おやつ作り1回 誕生日ケーキ作り 汁鍋物作り1回 朝食バン提供) ・通院同行 ・入浴介助 ・トイレ介助 ・更衣介助 ・金銭管理 ・服薬管理 ・食事提供 ・夜間巡視 ・身体状況観察(含：バイタル測定) ・買い物同行&代行 受給者証等の書類作成代行 敷地内で家庭菜園を作り、昨夏には枝豆を栽培し、近隣農家から頂いた茄子の苗を育て、収穫した茄子を食材で活用したり利用者が調理して、日中活動に活かしている。また、隣接する若松町公園内を日々散策し、時には、桜の季節など弁当持参で花見を行うなど、できる限り屋外での活動を積極的に実施している。	
	・外部の日中活動サービス等の利用人数及び内容について。	・生活介護 1名 若葉泉の里 ・就労B 5名 サブカルビジネスセンター/イオン長沼/DOT WORK/リパノス ・就労A 1名	
4 地域に開かれた運営について	・利用者に対して外出や余暇活動の支援に努めているか。	・毎日の午前&午後の散歩を実施(1回平均25分程度×3回) ・雨天時を除く家庭菜園。5回/週程度実施(土作り/種まき/水やり/草取り/成長観察) ・年一回の地元自治会の夏祭りに参加。今後は出店できるか打診している。 最寄駅のJR都賀駅まで徒歩12分の好立地を活かし、自ら移動が可能な利用者は、駅周辺で若葉図書館西都賀分館に通ったり、近隣商業施設での買物など外出活動を積極的に推進している。	
	・家族や地域住民との交流の機会が確保されているか。	・若葉消防署から水消火器をお借りして、9月に消火訓練の予定。当ホーム主導で消防訓練を行っていき防災意識の共有を図りたい。 ・中学校の職場体験を通して障害福祉について理解を深めるきっかけを作ってもらうための取り組みを検討中。障害者グループホームについて理解を促すために、パワーポイントで資料作りをした。 ・隣接する若松町公園で日々散策をすることで、近隣住民に利用者の存在を知って頂く機会としている。当初は子どもたちから「気持ち悪い」「怖い」などの声が聞かれたが、現在は毎日の散歩で挨拶を交わす交流が持てるようになり、グループホームの認知が浸透しつつある。 ・毎年7月に開催される「若松町公園北部祭り」に自治会長から直々にお声掛けを頂きエッセンス利用者12名で参加させていただき、地域の方々に交じって屋台や催事を楽しませていただいた。 ・近隣の農家のアドバイスを受け、農地の一部を借りて野菜や花の栽培を行っていたが、あまりにも広大であったため今年度は規模を縮小している。野菜や花を育て収穫をすることで、成長と共に収穫への期待、収穫後の料理に夢を膨らませている。農家の方々を招き、料理を振舞い、収穫の喜びを分かち合うことが目標。	

・体験の利用等のニーズに対応しているか。	・当ホームに興味関心のある方の問い合わせに対し、電話対応、対面での見学案内を適宜受け付けている。 ・体験利用の希望があれば、身体状況に合わせ1回～複数回の体験利用を実施。 ・体験利用の際、ご家族より利用者の障害特性や日々のルーティンを細かく情報収集をすることで、利用者が自宅での生活と大きな解離が生じないよう配慮している。 ・特に曜日や日にちの希望がなければ、当ホームのイベント（おやつ作り・食のイベント・お楽しみ夕食など）の参加ができるような日程を案内している。 ・体験入所の入居時間は14時、退去時間は10時が基本であるが、ご家族や利用者の希望に合わせて、入退去時間の変更に関して臨機応変に応じている。	
・土日を含めた常時の支援体制が確保されているか。	・土日も規定の人員配置を満たした職員数で支援を実施。 ・平日の日勤帯は、外部からの入電や来訪者対応すべく、規定以上の人員配置で対応している。 また、レクリエーション活動にも支障をきたさない状況を作り出している。 ・現在、生活支援員が行っている清掃等の支援を、清掃専門の職員を雇用することにより、日中活動の充足を図る予定。 ・日勤帯で対応していた夕食づくりを、夜勤帯で対応することにより、日中活動の時間を十分に確保し、利用者の満足度を上げることができた。	
・地域連携推進会議の開催状況は。	・開催時期 R/7/6～R7/11 構成員 地主農業従事者川口氏家族&エッセンス利用者 参加人数(利用者15名・職員10名・農地オーナー&家族2名) - 一昨年前まで、駐輪場脇花壇で利用者に家庭菜園をしていただいていたが、農業経営の川口氏からゴーヤと茄子の苗を頂いたことをきっかけに、農地の一部を期間限定で貸していただくことができ、6月から順次、茄子、ひまわり、ミニキャロット及びサツマイモの栽培を開始した。当初より畑の耕し方、苗の植え方、日常の手入れの仕方及びサツマイモの葉っぱの取り回し等のアドバイスを受け農業の楽しさと大変さを学ばせていただいた。畑のオーナーからは、利用者が挨拶をできている事及び畑作業に取り組む姿勢に評価の言葉を頂いた。	
・地域連携推進会議の構成員に対する見学機会の提供状況は。	・地主の方に見学を行っていただいている。	

エッセンス都賀

項目	評価の観点	【事業所記入欄】 具体的な内容	評価・要望・助言（協議会記入欄）
5 支援体制の確保・質の確保について	・支援の質の確保・向上に努めているか。（研修の実施など）	・昨年参加した虐待防止講習会をベースに、管理者が講習内容を纏め、各職員に講習内容をリリースした。2月、2日間にわたり実施し8名参加。不参加者に対し勉強会資料を渡し自主学習を指示した。次回8月開催予定。 ・身体拘束マニュアルをベースに管理者が部分的に抜粋して、全職員を対象に勉強会を2日間にわたり行った。5月8名に対し勉強会を行い、不参加者に対してはペーパーで自主学習を指示した。次回11月開催予定。 ・感染性胃腸炎の症状が疑われる利用者が2名確認されたため、感染防止研修として感染性胃腸炎について看護師が勉強会を行った。感染経路や感染拡大防止策、吐瀉物の処理方法などを伝えた。参加者4名、不参加者には資料を渡し自主学習を指示した。次回感染防止研修は10月予定。題材はインフルエンザ予防とする。 ・内部研修は四半期に1回を目途に適宜行っている。「服薬介助」について勉強会を施行。服薬介助に必要な知識を得るとともに、薬の作用・副作用を知ることによって誤薬のリスクを確認する機会とする。 ・外部研修にて職員のスキルアップを目指し、マンパワーを上げ、利用者により良い支援が提供できるよう努めている。会社負担で、既に初任者研修1名の実施。今後は各職員のスキルに合わせて適宜受講させる予定。 ・ミニカンファレンスは週1回40分を目安に、適宜開催している。	
	・実習生やボランティアを積極的に受け入れているか。	・定期的に来訪するボランティアは現在1名。 ・月に1回もしくは2回の訪問で、同行が欠かせない利用者の外出などを担っていただいている。 ・動物公園、ポートタワー、プラネタリウム、若松町公園散歩、商業施設でウィンドウショッピング、ドライブ等	
	・災害時・緊急時の備えがなされているか。	・年2回の外部委託業者による消防設備点検実施。 ・防火防災対応マニュアルの作成 ・非常持ち出し用品の準備 ・年2回の防災訓練実施 ・看護師常駐にて身体状況の把握 ・職員及び利用者に対し火災時慌てないために、消化器の設置場所及び非常ベルの位置確認を行った。・水消火器の消火訓練 ・消火設備の作動確認を専門業者にて毎年6月実施している。今年度も前年度に続き点検においては問題なし。・ポータブル発電機2台有り ・防火管理責任者研修を3名受講完了。	
	・事故発生時の対応ができているか。	・不穏状態で他害行為のあった利用者対応と身体損傷について、事故発生翌日(16時間後)に千葉市に報告 ・即日利用者の安全を第一優先に人員配置を考慮 ・引き続き情報収集に努める ・関係各所に情報共有 ・結果をもとに職員研修を行い再発の予防	
	・苦情対応ができているか。	・利用者家族が近隣住民宅前に無断で駐車した際苦情が出たが、即時対応したことで事なきを得た 件数1件	

6 短期入所の併設について	地域で生活する障害者を積極的に受け入れているか。	・平均2～3名/月の受け入れをして、そのうちリピーターができてきているので、今後とも定着化を図る予定。	
	・緊急支援等の受け入れに対応しているか。	・基幹センター等からの問い合わせの際、空き状況もアナウンスし、いつでも受け入れできる体制をとっている。 ・要望に対し随時、対応しており、利用者の状況に応じて、長期利用や短期入所から共同生活援助への変更にも対応している。 ・相談員からの急な依頼に関して、身体状況等の情報を詳細に把握することで、緊急性の有無を判断し、緊急性のある場合は早急に対応すべく態勢を整えている。 ・たとえ緊急の受け入れであっても、事前に職員間で十分な情報共有を行い、既存の利用者が不穏とならないよう十分な周知をして、身体的影響が出ないよう配慮している。 前年の延べ利用者数：15名	
7 他事業所との連携	相談支援事業者や他のサービス事業所との連携を行っているか。	・利用者及び家族の意向の共有 障害特性と身体状況の共有 支援の方向性を共有 ○介護：若葉泉の里 ヘルパーステーションのどか はな訪問介護ステーション デイサービス白雲 訪問介護ネコロボマン ヘルパー事業所ころわ ○就労支援事業所：DOTWORK サブカルビジネスセンター リバノス イオン長沼 ○訪問看護ステーション：エブリー訪問看護ステーション デューン訪問看護ステーション 井上記念病院 病院訪問看護ステーション ○医療機関：木村病院 下総精神医療センター 千葉リハビリテーションセンター 千葉大学医学部附属病院 東邦大学医療センター佐倉病院 みつわ台病院 北千葉整形外科 市立青葉病院 鎌取メンタルクリニック 都賀デンタルクリニック 斎藤労災病院 ○障害者地域支援事業所：ふれあいサロン	
8 その他	・事業所独自の取り組みの有無	健常者と分け隔てのない住環境で、安心して生活できることをコンセプトに、JR都賀駅徒歩12分の好立地の住宅街の中で、常勤看護師による身体状況の把握と医療連携及び医療提供を実施。 ・館内のバリアフリー化 ・車椅子同士がすれ違えける幅を持った廊下 ・車いす対応のトイレ&浴室 ・浴室乾燥機設置 ・全館全室の窓にシャッター設置にて防犯対策 ・玄関二重ロック ・社有車確保 ・駐輪場確保 ・車いす用屋外スロープ設置 ・会社負担で資格取得支援 ・看護師による医療的ケア研修の実施 ・利用者はもとより職員やその家族の健康相談 ・清掃専門員の雇用 ・定期的な清掃業者の手配	

報告・評価シート

【報告日 令和8年 6月 5日】
【評価日 年 月 日】

項目	【事業所記入欄】							
1 施設概要	事業所名	グループホームはらから		人員配置	日中			
	指定日	令和6年 3月 1日			世話人	生活支援員		
	所在地	千葉県若葉区大宮町3421-1・720			20人	22人		
	定員数（共同生活援助）	37人			（常勤換算後）	（常勤換算後）		
	定員数（短期入所）	2人			11.3人	14.3人		
	共同生活住居数	4戸			看護師の配置	☒ 有（1人） ☐ 無		
	【住居の内訳】		【定員数の内訳】		夜間			
	住居名：グループホームはらから1番館		10名		夜間支援員			
	住居名：グループホームはらから2番館		8名		4人			
	住居名：グループホームはらから3番館		9名		（常勤換算後）			
	住居名：グループホームはらから4番館		10名		4人			
	住居名：		名		看護師の配置	☐ 有（ 人） ☒ 無		
	2 利用者状況 (令和8年6月5日 現在)	障害支援区分	人数		内訳	主な障害種別利用者人数（重複はそれぞれ記入）		
		非該当	0人			身体	総 数：	0人
区分 1		0人		主に日中GHで過ごす人数：			0人	
区分 2		0人		知的		総 数：	36人	
区分 3		0人				主に日中GHで過ごす人数：		0人
区分 4		1人		精神		総 数：	1人	
区分 5		8人				主に日中GHで過ごす人数：		1人
区分 6		28人		難病等		総 数：	1人	
合計		37人				主に日中GHで過ごす人数：		0人

	年齢	人数	その他	障害特性	人数
	～20代	0人		医療的ケアが必要な者	7人
	30代	1人		強度行動障害がある者	27人
	40代	9人			
	50代	18人			
	60代～	9人			

グループホームはらから

項目	評価の観点	【事業所記入欄】	評価・要望・助言（協議会記入欄）
3 利用者の主な日中の活動について	・ GH内で主にどのような日中サービスを提供しているか。	・ 居室で過ごす方16名、共有スペースで過ごす方21名 ・ 通院同行、買い物同行 ・ 入浴、排泄、食事介助 ・ レクリエーション（季節行事、誕生会、レク外出） ・ 散歩（毎週土日にホーム毎で実施）	
	・ 外部の日中活動サービス等の利用人数及び内容について。	・ 生活介護 デイサポート和音 37名（内1名は通えておらず、ホームに残っている） ・ 休日は、自室で過ごす、共有スペースでテレビや音楽、散歩などを楽しむ方もいる。	
4 地域に開かれた運営について	・ 利用者に対して外出や余暇活動の支援に努めているか。	・ 土日、利用者の体力に合わせ30分から1時間の散歩を実施。 ・ 近隣のスーパーにおやつの買い物同行を実施。 ・ 少人数での外出や、ホーム毎で外食外出を実施。	
	・ 家族や地域住民との交流の機会が確保されているか。	・ 地域の夏祭りや文化祭に参加。 ・ 散歩中、地域の方へ挨拶の実施。	
	・ 体験的利用等のニーズに対応しているか。	・ 入居希望があり、入居に向けての体験利用 1名	
	・ 土日を含めた常時の支援体制が確保されているか。	・ 土日は平日より多くの職員を配置し支援を提供。 ・ レクリエーションを行う際は、支援に必要な人員が確保できるよう管理・調整を行っている。	
	・ 地域連携推進会議の開催状況は。	・ 開催時期：令和8年3月25日（水）14：00～15：00 ・ 構成員：4名（利用者代表1名、保護者代表1名、地域の方1名（元職員で近隣に住んでいる方）、GH管理者） ・ 会議内容：地域との連携、サービスの透明性、権利擁護などの説明。参加者からの質問へ回答。	
	・ 地域連携推進会議の構成員に対する見学機会の提供状況は。	・ 日時：令和8年3月25日（水）15：00～16：00 ・ 参加者：3名（利用者1名、保護者1名、地域の方1名） ・ GH1番館から4番館まで順番に見学を実施	

グループホームはらから

項目	評価の観点	【事業所記入欄】	評価・要望・助言（協議会記入欄）
5 支援体制の確保・質の確保について	・支援の質の確保・向上に努めているか。（研修の実施など）	（実施・参加した研修名及び参加人数など） ・強度行動障害基礎研修を職員全員が受講。 ・社協主催「障害者福祉基礎研修」 7名受講。 ・内部、外部研修への積極参加。	
	・実習生やボランティアを積極的に受け入れているか。	（受け入れ人数など） 実習生 0人、ボランティア 0人 その他（ ） 人	
	・災害時・緊急時の備えがなされているか。	（災害、急な体調不良などへの対応方法、訓練の実施状況など） ・避難訓練の実施（ホーム毎に年2回実施） ・救命講習の受講 ・AEDの設置 ・井戸の設置 ・非常食を3日分備蓄 ・発電機、ソーラーパネルの設置	
	・事故発生時の対応ができているか。	（市に報告すべき案件について、主な内容・件数など） ・令和7年度 虐待、虐待疑いを千葉市に報告 2件	
	・苦情対応ができているか。	（利用者・家族・地域住民からの主な内容・件数など） ・令和7年度 0件	
6 短期入所の併設について	地域で生活する障害者を積極的に受け入れているか。	（前年度の受入人数など） ・令和7年度 4名 121名 区分5～6、女性、医ケア・強行ではない。 長期で1か月以上利用された方、1～2か月に1回定期的に利用される方、SSから本入居につながった方、将来に向けSSを試してみたい方など。	
	・緊急支援等の受け入れに対応しているか。	（受入体制、受入の対応など） ・令和7年度 0名 ・状況に応じて相談があれば受け入れ検討。	

7 他事業所との連携	相談支援事業者や他のサービス事業所との連携を行っているか。	(具体的な連携状況など) ・デイサポート和音（生活介護）、相談支援事業所ここから ・入居者の多くが利用していることから、ご本人の状況や支援方法について情報共有を行っている。	
8 その他	・事業所独自の取り組みの有無	(その他、独自の工夫点がある場合記入) ※設備のバリアフリー化、食事の提供内容の工夫など ・玄関前のスロープ化 ・階段に手すり設置 ・エレベーターの設置 ・利用者の状況に応じて刻みやトロミ食の提供。 ・食材は配達だが、キッチン職員が出来立てを提供。	

報告・評価シート

【報告日 2026 年 5 月 26日】

【評価日 年 月 日】

項目	【事業所記入欄】								
1 施設概要	事業所名		グループホームビートルケア柏井		人員配置	日中			
	指定日		令和 3年 12 月 1 日			世話人 生活支援員			
	所在地		千葉県花見川区柏井4-30-5			7人 2人			
	定員数（共同生活援助）		8人			（常勤換算後） （常勤換算後）			
	定員数（短期入所）		1人			2.8人 0.9人			
	共同生活住居数		1戸			看護師の配置 ☐ 有（ 人） ☒ 無			
	【住居の内訳】		【定員数の内訳】			夜間			
	住居名：グループホームビートルケア柏井		8名			夜間支援員			
	住居名：		名			4 人			
	住居名：		名			（常勤換算後）			
	住居名：		名			0.7 人			
	住居名：		名			看護師の配置 ☐ 有（ 人） ☒ 無			
	2 利用者状況 (令和8年5月1日現在)	障害支援区分		人数		内訳	主な障害種別利用者人数（重複はそれぞれ記入）		
非該当		0人		身体	総 数： 0人				
区分 1		0人			主に日中GHで過ごす人数： 0人				
区分 2		2人		知的	総 数： 4人				
区分 3		1人			主に日中GHで過ごす人数： 0人				
区分 4		3人		精神	総 数： 3人				
区分 5		1人			主に日中GHで過ごす人数： 1人				
区分 6		人		難病等	総 数： 0人				
合計		7人			主に日中GHで過ごす人数： 0人				
年齢		人数		その他	障害特性		人数		
～20代		0人			医療的ケアが必要な者		0人		
30代		0人			強度行動障害がある者		0人		
40代		3人							
50代		2人							
60代～		2人							

グループホームビートルケア柏井

項目	評価の観点	【事業所記入欄】	評価・要望・助言（協議会記入欄）
3 利用者の主な日中の活動について	・GH内で主にどのような日中サービスを提供しているか。	（日中をGH内で過ごす利用者に対する支援・サービスの内容） ※主に居室で過ごすか、共有スペースで過ごすかについても記載ください。 ・ラジオ体操（共有スペース） ・買い物支援 ・通院同行 ・主に自室で過ごすことが多い	
	・外部の日中活動サービス等の利用人数及び内容について。	・就労継続支援B型事業所4名（TODAY） ・就労継続支援B型事業所ベーカーリーウィズ1名 ・生活介護アプリケーションワークス蘇我2名 在宅の利用者はいない。	
4 地域に開かれた運営について	・利用者に対して外出や余暇活動の支援に努めているか。	（充実した地域生活を送るために実施している、外出や余暇活動など） ・長時間の外出はなかなか対応できないため、移動支援等の福祉サービスへ繋げる対応をしております。	
	・家族や地域住民との交流の機会が確保されているか。	（実施内容） ・ご家族様との面会や外出の機会を持っている	
	・体験的利用等のニーズに対応しているか。	（月平均の体験利用者数、体験利用の事例） ・他自治体からの転居に伴う体験者の受け入れ	
	・土日を含めた常時の支援体制が確保されているか。	（職員の配置状況など） ・確保しております	
	・地域連携推進会議の開催状況は。	（令和7年度の開催日、構成員（人数）、会議の内容など） ・2025年5月29日に開催済み。参加者6名（利用者、利用者家族、支援専門員、地域住民の方（自治会長）、事業所管理者、法人社員）事業所や法人の紹介、施設見学、支援内容の紹介、事故ヒヤリハットの報告	
	・地域連携推進会議の構成員に対する見学機会の提供状況は。	（令和7年度の住居ごとの実施時期及び方法、見学内容など） ・上記開催の際に実施 ・GHの見学会を行った後に、公民館に移動して会議を行った。	

グループホームビートルケア柏井

項目	評価の観点	【事業所記入欄】	評価・要望・助言（協議会記入欄）
5 支援体制の確保・質の確保について	・支援の質の確保・向上に努めているか。（研修の実施など）	（実施・参加した研修名及び参加人数など） ・定期的な個別支援計画書の見直し ・会社で決められた年間の研修予定に沿って、虐待防止や身体拘束適正化、感染症、ハラスメント等の研修を月に1回行っている。	
	・実習生やボランティアを積極的に受け入れているか。	（受け入れ人数など） 実習生 0人、ボランティア 0人 その他（ ） 0人	
	・災害時・緊急時の備えがなされているか。	（災害、急な体調不良などへの対応方法、訓練の実施状況など） ・定期的な避難訓練 ・非常食等の備蓄	
	・事故発生時の対応ができているか。	（市に報告すべき案件について、主な内容・件数など） ・ございません	
	・苦情対応ができているか。	（利用者・家族・地域住民からの主な内容・件数など） 昨年2件ほどありましたが解決済みです。 2件ともに利用者様の言動に対して、支援が行き届いていないのではないかと他利用者様から苦情をいただいたケースになりま	
6 短期入所の併設について	地域で生活する障害者を積極的に受け入れているか。	（前年度の受入人数など） ・月に1名程度 概ね月4日程度の利用 積極的な受け入れはしていないが、要望あれば受け入れ可能	
	・緊急支援等の受け入れに対応しているか。	（受入体制、受入の対応など） ・受け入れは対応しますが、昨年度は緊急的な案件はありませんでした	
7 他事業所との連携	相談支援事業者や他のサービス事業所との連携を行っているか。	（具体的な連携状況など） ・入居利用者様の相談支援専門員との定期的な情報共有を実施 ・変化があった際には、都度連絡を取り合うようにしている。	
8 その他	・事業所独自の取り組みの有無	（その他、独自の工夫点がある場合記入） ・食事の提供内容の工夫など ・スムーズな下膳が出来るよう滑り止めトレーを使用 ・誕生月には職員手作りのスイーツを提供	

報告・評価シート

【報告日 2026年 5月 28日】

【評価日 年 月 日】

項目	【事業所記入欄】								
1 施設概要	事業所名		グループホーム ピートルケア鎌取		人員配置	日中			
	指定日		2023年 2 月 1 日			世話人 生活支援員			
	所在地		千葉市緑区平山町2019-1			11人 7人			
	定員数（共同生活援助）		20人			（常勤換算後） （常勤換算後）			
	定員数（短期入所）		2人			6.7人 4.8人			
	共同生活住居数		2戸			看護師の配置 ☐ 有（ 人） ☒ 無			
	【住居の内訳】		【定員数の内訳】			夜間			
	住居名：ピートルケア鎌取1階		10名			夜間支援員			
	住居名：ピートルケア鎌取2階		10名			1 2 人			
	住居名：		名			（常勤換算後）			
	住居名：		名			2. 9 人			
	住居名：		名			看護師の配置 ☐ 有（ 人） ☒ 無			
	2 利用者状況 (令和8年5月27日 現在)	障害支援区分		人数		内訳	主な障害種別利用者人数（重複はそれぞれ記入）		
		非該当		0人			身体	総 数： 8人	
区分 1		0人		主に日中GHで過ごす人数： 1人					
区分 2		0人		知的	総 数： 2人				
区分 3		2人			主に日中GHで過ごす人数： 0人				
区分 4		6人		精神	総 数： 10人				
区分 5		6人			主に日中GHで過ごす人数： 1人				
区分 6		5人		難病等	総 数： 1人				
合計		19人			主に日中GHで過ごす人数： 0人				
年齢		人数		その他	障害特性				
～20代		2人			医療的ケアが必要な者				
30代		0人			強度行動障害がある者				
40代		1人							
50代		9人							
60代～		7人							

項目	評価の観点	【事業所記入欄】	評価・要望・助言（協議会記入欄）
3 利用者の主な日中の活動について	・GH内で主にどのような日中サービスを提供しているか。	（日中をGH内で過ごす利用者に対する支援・サービスの内容） ※主に居室で過ごすか、共有スペースで過ごすかについても記載ください。 ○見守り支援、排泄介助、入浴介助、金銭管理、通院同行、行政手続き同行、買物同行（ネットショッピングも）、困りごと相談、障害サービスの手続き（書類）、談話、散歩 ※用事がない限り、居室にて過ごされる方が多いです。	
	・外部の日中活動サービス等の利用人数及び内容について。	（利用人数（19人中16人） ○就労B（Today若松、都町、ワークステーションリベルタス、ドットワーク、リヴアイバル）全員が通所利用されており在宅勤務の方はいない。 ○生活介護（若葉泉の里野呂・大宮、アプリケアワークス蘇我）	
4 地域に開かれた運営について	・利用者に対して外出や余暇活動の支援に努めているか。	○散歩に出かける（毎日） ○移動支援やタクシーの手配（希望による）	
	・家族や地域住民との交流の機会が確保されているか。	○家族に対して利用状況報告（月1回程度） ○散策時、住民への声掛け実施。 ○三社神社祭のこどもみこし観覧。	
	・体験の利用等のニーズに対応しているか。	○ショートステイ（10日/月程度）受入れ。 ○体験利用は空室時は随時対応している。	
	・土日を含めた常時の支援体制が確保されているか。	○曜日に関わらず、常時支援体制を整えている。欠員時は、バックアップ施設から人員の補充が見込める。 ○スポット派遣を活用している。 カイトック（タイミーの介護職ver.）を利用。主に夜勤に充てている。業務の流れや利用者情報等を主に管理者が伝えている。日勤帯から慣れてもらいその後夜勤に入ってもらう。リピートで入ってくれるスタッフもいる。	陽
	・地域連携推進会議の開催状況は。	○2025年11月1日に実施した。本年度も開催に向けて、現在本社担当部署や職員、また地域の関係者への連絡や会議内容を検討しております。	
	・地域連携推進会議の構成員に対する見学機会の提供状況は。	参加者5名（利用者、利用者家族、支援専門員、地域の民生委員、事業所管理者）事業所や法人の紹介、施設見学、支援内容の紹介、事故ヒヤリハットの報告、会議後に施設内を見学頂いた。	

項目	評価の観点	【事業所記入欄】	評価・要望・助言（協議会記入欄）
5 支援体制の確保・質の確保について	・支援の質の確保・向上に努めているか。（研修の実施など）	○月1回程度、本社研修にて学ぶ機会がある。 ○事業所内にて職員間での研修を行う	
	・実習生やボランティアを積極的に受け入れているか。	（受け入れ人数など） 実習生 0 人、ボランティア 0 人 その他（ ） 人	
	・災害時・緊急時の備えがなされているか。	○定期的な防災訓練（年3回） ○災害時に備えて、水、食料など3日分備蓄している。	
	・事故発生時の対応ができているか。	誤薬の件で、しかるべく報告しました。	
	・苦情対応ができているか。	○施設長が苦情対応窓口となって都度対応しています。 苦情件数は1件ありました。内容はご家族様からある職員の言葉づかいについてご指摘をいただきました。職員に対して指導を行い、その結果についてご家族様へ報告しご納得いただきました。	
6 短期入所の併設について	地域で生活する障害者を積極的に受け入れているか。	（前年度の受入人数など） ○平均月1～3名程度受け入れている（合計12日程度/月） 2室中1室稼働している。土日にリビートの方が利用している。契約者は10名程度だが実際には2～3名の利用。	
	・緊急支援等の受け入れに対応しているか。	○空き状況により受け入れている。 部屋が空いていれば受け入れ可能、受け入れは平日になる。最近 は受け入れ実績無し。	
7 他事業所との連携	相談支援事業者や他のサービス事業所との連携を行っているか。	必要な障害サービスの相談をしたり、緊急時など連絡を取り合っている。	
8 その他	・事業所独自の取り組みの有無	（その他、独自の工夫点がある場合記入） 令和6年度までと令和7年度で事業所における変化については、入居者の入れ替わり等もあり全体として安定した。それにより入浴回数を増やすことに繋がったり、利用者とのやり取りを丁寧に行えるようになった。入浴を外部ヘルパーに依頼することが多くなっているのも要因かと思う。スタッフは4年前の開業時から継続している人が多い。7月には20室満室になる予定。	

報告・評価シート

【報告日 2026年 6月 4日】
【評価日 年 月 日】

項目	【事業所記入欄】							
1 施設概要	事業所名	ソーシャルインクルーホーム千葉園生町		人員配置	日中			
	指定日	令和 3年 4月 1日			世話人	生活支援員		
	所在地	千葉市稲毛区園生町1279-1			20人	5人		
	定員数（共同生活援助）	20人			（常勤換算後）	（常勤換算後）		
	定員数（短期入所）	2人			8.3人	4.1人		
	共同生活住居数	1戸			看護師の配置	☐ 有（ 人） ☒ 無		
	【住居の内訳】		【定員数の内訳】		夜間			
	住居名：ソーシャルインクルーホーム千葉園生町Ⅰ		10名		夜間支援員			
	住居名：ソーシャルインクルーホーム千葉園生町Ⅱ		10名		18人			
	住居名：		名		（常勤換算後）			
	住居名：		名		2.8人			
	住居名：		名		看護師の配置	☐ 有（ 人） ☒ 無		
	2 利用者状況 （令和8年6月1日 現在）	障害支援区分	人数		内訳	主な障害種別利用者人数（重複はそれぞれ記入）		
		非該当	0人			身体	総 数：	7人
区分 1		0人		主に日中GHで過ごす人数： 3人				
区分 2		0人		知的		総 数：	6人	
区分 3		8人				主に日中GHで過ごす人数： 0人		
区分 4		5人		精神		総 数：	8人	
区分 5		5人				主に日中GHで過ごす人数： 5人		
区分 6		2人		難病等		総 数：	0人	
合計		20人				主に日中GHで過ごす人数： 0人		
年齢		人数		その他		障害特性		人数
～20代		2人			医療的ケアが必要な者	0人		
30代		1人			強度行動障害がある者	4人		
40代		2人						
50代		10人						
60代～		5人						

項目	評価の観点	【事業所記入欄】	評価・要望・助言（協議会記入欄）
3 利用者の主な日中の活動について	・ GH内で主にどのような日中サービスを提供しているか。	入居者様の身体状況に合わせて、食事の提供や入浴介助、排泄介助を行っている。食事に関しては湯銭等のレトルトではなく食材が届き、栄養管理のなされたメニューを世話人が一から調理して提供している。入浴介助は車椅子を使用している方も安全に入浴できるように機械浴を完備。シャワーチェアごと浴槽に浸かれる為、入居者様からも好評。服薬管理もホームで行っており、連携先の薬局が服薬を一包化して配達して下さる為、入居者様のお名前と時間を職員間でWチェックしながら安全に投薬を行えるようにシステム化しながら取り組んでいる。日中ホームで過ごされる方は居室内で過ごされる方が多く、TVを見たりゲームをされている。その他は買い物に外出したり友人と会う方もいらっしゃる。	
	・ 外部の日中活動サービス等の利用人数及び内容について。	入居者様20名中、12名が日中活動サービスを利用中。 ・ 就労継続支援B型事業所…3名 ドットワーク園生（通所）、リハスワーク千葉美浜（通所）、リパノス蘇我（通所・在宅） ・ 生活介護事業所…9名 その他入居者様も訪問リハビリ(3名)や訪問看護(12名)を個別で契約してサービスを受けている。	
4 地域に開かれた運営について	・ 利用者に対して外出や余暇活動の支援に努めているか。	ご自身で買い物や病院受診へ行かれる方が多く、必要に応じて近隣のドラッグストアや銀行、役所への手続き等に職員が同行している。余暇活動としてホーム独自でレク活動を企画している。	
	・ 家族や地域住民との交流の機会が確保されているか。	ご家族や友人、関係者との面会や外出における制限は設けておらず、入居者様の予定に合わせて適時対応している。また、急な外出や外泊にも対応できるように体制を整えている。	
	・ 体験的利用等のニーズに対応しているか。	福祉サービス未経験の方にもGHでの生活を体験して頂けるように弊社独自のトライアルサービス(体験利用)を設けている。最長6泊7日、家賃や食費を頂くことなくGHを利用し、住まいの想像ができるような体験期間を提供させて頂いている。	
	・ 土日を含めた常時の支援体制が確保されているか。	土日は日中活動事業所が休みになり、平日に比べて入居者様の在居人数が多くなる為、職員の配置数を多く配置して支援体制を整えている。	
	・ 地域連携推進会議の開催状況は。	令和7年度の地域連携推進会議は10月15日に実施。(構成員は入居者様、ご家族、訪問看護職員、相談員、基幹相談支援職員)初回の開催ということもあり、ホームの設備や環境面も構成員へ丁寧に説明している。また入居者様にも参加いただき、ホームでの生活に関しての要望等の声も伺うことができ、良い機会となっている。	
	・ 地域連携推進会議の構成員に対する見学機会の提供状況は。	昨年度の地域連携推進会議の構成員に対しては、会議当日にホーム内の設備や居室内について見学して頂いている。日頃よりご希望があれば適時対応させて頂いている。	

項目	評価の観点	【事業所記入欄】	評価・要望・助言（協議会記入欄）
5 支援体制の確保・質の確保について	・支援の質の確保・向上に努めているか。（研修の実施など）	定期ホーム研修と題して、毎月全職員向けに研修を実施している。虐待防止や身体拘束について、また災害に備えた避難訓練も消防を呼んで実施。研修実施後は報告書を全職員が記入して本社へ提出し、認知度や課題を確認しながら翌月の研修に繋げている。	
	・実習生やボランティアを積極的に受け入れているか。	実習生 0人、ボランティア 0人 その他（ ） 0人 直近での受け入れ実績は無いが、今後はレク活動時にボランティアを募り、活動の幅を広げていけるように検討中。	
	・災害時・緊急時の備えがなされているか。	避難訓練(年2回実施)、感染症対策委員会の開催(年4回)を定期開催することで災害や緊急時に備えている。災害時の備えとして入居者様20名の水や備品を保管している。	
	・事故発生時の対応ができているか。	令和7年度に行政報告は4件。内容として入居者様の他害が1件、服薬事故(タイミング間違え1件、飲ませ忘れ2件)となっている。事故発生時はマニュアルに沿って対応し、必要に応じて行政報告もさせていたでいる。	
	・苦情対応ができているか。	令和7年度は苦情関係についての報告は上がっていない。今後もご本人を始め、各関係者との連携を密に取りながら関係性構築に努めていく。	
6 短期入所の併設について	地域で生活する障害者を積極的に受け入れているか。	千葉園生ホームでは短期入所の居室を2部屋設けている。2階の短期入所は空室待ちとして1名の方が長期間利用されている。1階の短期入所も相談員からの案件により定期的な利用に繋がっている。	
	・緊急支援等の受け入れに対応しているか。	緊急案件であっても対応できるよう努めている。食事の準備は外部委託していることから約1週間の時間を頂いているが、緊急の受け入れ時は近隣で食材を購入する等の工夫に努め、可能な限り生活の場を提供できるように対応している。 1階と2階でそれぞれ1名ずつ受け入れ可。1階は単発・ロングショートステイ両方利用あり。毎日埋まっているわけではないが利用率は高い。R8年6月末からはロングショートステイの方が入っていて、部屋が空き次第本入居。2階は2年ほど同じ方がロングショートステイで利用。部屋が空き次第本入居。	
7 他事業所との連携	相談支援事業者や他のサービス事業所との連携を行っているか。	弊社独自の取り組みとして、『地域連携活動報告』という業務内容を組み込んでいる。毎月全入居者様の関係者へ連絡を入れ、ご本人の日々の様子や通所先での出来事、体調面などを共有できるように取り組んでいる。	
8 その他	・事業所独自の取り組みの有無	独自の取り組みとして玄関前にスロープの設置。ホーム内はバリアフリー環境を整え、エレベーターも完備している。食事は手作りメニューをこだわりとしており、調理直後のあたたかい食事を提供できることから入居者様からも好評を頂いている。	

報告・評価シート

【報告日 2026年 6月 5日】

【評価日 年 月 日】

項目	【事業所記入欄】							
1 施設概要	事業所名		ソーシャルインクルーホーム千葉大森町		人員配置	日中		
	指定日		令和3年 3月 1日			世話人	生活支援員	
	所在地		千葉市中央区大森町252-1			18人	5人	
	定員数（共同生活援助）		20人			(常勤換算後)	(常勤換算後)	
	定員数（短期入所）		1人			7.4人	4.0人	
	共同生活住居数		1戸			看護師の配置	☐ 有（ 人） ☒ 無	
	【住居の内訳】		【定員数の内訳】			夜間		
	住居名：ソーシャルインクルーホーム千葉大森町Ⅰ		10名			夜間支援員		
	住居名：ソーシャルインクルーホーム千葉大森町Ⅱ		10名			16人		
	住居名：		名			(常勤換算後)		
	住居名：		名			3.1人		
	住居名：		名			看護師の配置	☐ 有（ 人） ☒ 無	
	2 利用者状況 (令和8年6月1日現在)	障害支援区分		人数		内訳	主な障害種別利用者人数（重複はそれぞれ記入）	
非該当		0人		身体	総 数：		5人	
区分1		0人			主に日中GHで過ごす人数：		3人	
区分2		0人		知的	総 数：		6人	
区分3		5人			主に日中GHで過ごす人数：		1人	
区分4		7人		精神	総 数：		12人	
区分5		5人			主に日中GHで過ごす人数：		4人	
区分6		2人		難病等	総 数：		1人	
合計		19人			主に日中GHで過ごす人数：		0人	
年齢		人数		その他	障害特性		人数	
～20代		2人			医療的ケアが必要な者		1人	
30代		1人			強度行動障害がある者		1人	
40代		3人						
50代		6人						
60代～		7人						

項目	評価の観点	【事業所記入欄】	評価・要望・助言（協議会記入欄）
3 利用者の主な日中の活動について	・ GH内で主にどのような日中サービスを提供しているか。	GHにおける基本的支援(食事提供、入浴介助、衣類の更衣介助、歯磨き介助等)が中心となっています。入所施設とGHの違いは日々の日課の中に活動を組み込む事を必須としていない為、個々の居室でTVを見て過ごされたりゲームをして過ごす方や友人と外出される方等日中の過ごし方は様々です。千葉大森町のホームとしては今後レク活動として、お誕生日外食等を行い、GHで日中を過ごす方でも楽しみをもてるように活動内容を広げていく予定です。	
	・ 外部の日中活動サービス等の利用人数及び内容について。	・ 就労継続支援B型…4名（通所・送迎を利用） ・ 生活介護事業所…5名 ・ デイケア…1名 ・ 訪問リハ…4名 ・ 訪問看護…8名	
4 地域に開かれた運営について	・ 利用者に対して外出や余暇活動の支援に努めているか。	病院受診後に日用品やお菓子等の購入に職員が同行したり、ホーム周辺で短時間の散歩等を実施しています。上記でも記載していますが今後は余暇活動としてレク活動を取り入れていけるように検討中です。	
	・ 家族や地域住民との交流の機会が確保されているか。	ご家族との面会や外出は制限等設けておらず、ご家族の都合に合わせて対応させて頂いています。地域住民との交流は現状持ていませんが、今後大森町の自治会に参加し、ゴミゼロ運動や地区内のお祭りに入居者様と参加できるように調整中です。	
	・ 体験的利用等のニーズに対応しているか。	現在男性の空室が1室あり、相談員からの依頼で体験利用を実施しております。	
	・ 土日を含めた常時の支援体制が確保されているか。	土日は入居者様の在所人数が多い為、在所人数や曜日に合わせて支援体制を整えております。事故発生時にも柔軟に対応できるよう、管理者・サービス管理責任者・生活支援員が同日に休日が被ることの無いように調整を行っています。	
	・ 地域連携推進会議の開催状況は。	令和7年度は12月12日に地域連携推進会議を開催しております。（GHの入居者様、ご家族、自治会長様が参加）今年度は7月22日に開催予定になっています。	
	・ 地域連携推進会議の構成員に対する見学会の提供状況は。	見学日は設けておらず、ご家族や相談員からの希望があれば随時見学の機会を提供しております。また、構成員に対しては地域連携推進会議時に見学の機会を提供しております。	

ソーシャルインクルーホーム千葉大森町

項目	評価の観点	【事業所記入欄】	評価・要望・助言（協議会記入欄）
5 支援体制の確保・質の確保について	・支援の質の確保・向上に努めているか。（研修の実施など）	毎月全職員を対応とした定期ホーム研修を実施しています。内容としては虐待防止や感染症対策、避難訓練やBCP関連について取り組んできています。大地震も予想されている為、避難訓練は消防職員に協力を仰ぎながら日中や夜間を想定して年に2回必ず実施しています。	
	・実習生やボランティアを積極的に受け入れているか。	実習生 0人 ボランティア 0人 その他（ ） 0人 受け入れ体制が整い次第、ボランティアにご協力頂きながらレク活動を取り入れていきたいと考えています。	
	・災害時・緊急時の備えがなされているか。	年に2回の避難訓練の実施(3月・9月)に加え、避難場所の確認やBCPの見直しを行いながら、災害時に備えています。その他備蓄品（水、乾パン、ヘルメット）は用意の在庫確認や期限切れの物資の交換も行っています。緊急時には適切に対応できるように緊急時の対応フローを作成し、全職員が確認できる場所に掲示し、意識付けをしております。	
	・事故発生時の対応ができているか。	行政事故報告内容としては服薬事故(落葉、人間違い、飲ませ忘れ)が主になっています。事故発生時のマニュアルに沿って対応し、ご家族や後見人、相談員にも即時情報共有をさせて頂いています。(2025年6月～現在までに服薬事故は19件、うち行政報告は4件)	
	・苦情対応ができているか。	2025年6月～現在までに苦情受付は3件あり、内容としては①職員全体の周知漏れによる対応の相違。②管理者の接遇態度や言葉遣いの指摘。③通所先への荷物の持たせ忘れ。になります。適時職員への接遇態度や言葉遣いに関しては研修を実施して改善に努め、当事者には謝罪させていただいています。	
6 短期入所の併設について	地域で生活する障害者を積極的に受け入れているか。	千葉大森町では1階男性棟にて1室短期入所の居室を設けております。現在、短期入所受け入れの実績は無いが緊急案件があれば受け入れられるように準備をしております。関係機関へも短期の利用を必要としている方が居ないか連携を取っているが、本入居を希望される方が多く、利用実績に繋がっていない現状です。	
	・緊急支援等の受け入れに対応しているか。	緊急時に相談できる場所として、相談員とも連携を取りながら受け入れ体制を整えています。	
7 他事業所との連携	相談支援事業者や他のサービス事業所との連携を行っているか。	弊社の取り組みとして、毎月全入居者様の関係者対象に地域連携活動報告を行っています。入居者様のホームでの様子を相談員と共有したり、日中活動先との情報共有を積極的に行っております。	
8 その他	・事業所独自の取り組みの有無	1階、2階共に完全バリアフリー設備になっており、エレベーターも完備しています。車椅子のまま中に入れる広さのトイレも各階に2つずつ設置しています。食事は湯銭やレンジ調理では無くホームにて手作りをしており、入居者様からとても好評です。	

報告・評価シート

【報告日 R8 年 6 月 9 日】

【評価日 年 月 日】

項目	【事業所記入欄】							
1 施設概要	事業所名		ソーシャルインクルーホーム千葉あすみが丘東		人員配置			
	指定日		H31年 1月 1日					
	所在地		千葉市 緑区あすみが丘東1-13-10					
	定員数（共同生活援助）		20人					
	定員数（短期入所）		2人					
	共同生活住居数		2戸					
	【住居の内訳】		【定員数の内訳】					
	住居名：ソーシャルインクルーホーム千葉あすみが丘東A棟		10名					
	住居名：ソーシャルインクルーホーム千葉あすみが丘東B棟		10名					
	住居名：短期入所 千葉あすみが丘東A棟		1名					
	住居名：		名					
	住居名：		名					
	2 利用者状況 (令和8年6月1日現在)	障害支援区分		人数		内訳	主な障害種別利用者人数（重複はそれぞれ記入）	
非該当		0人		身体	総 数：		2人	
区分 1		0人			主に日中GHで過ごす人数：		1人	
区分 2		0人		知的	総 数：		2人	
区分 3		6人			主に日中GHで過ごす人数：		1人	
区分 4		9人		精神	総 数：		14人	
区分 5		1人			主に日中GHで過ごす人数：		4人	
区分 6		2人		難病等	総 数：		0人	
合計		18人			主に日中GHで過ごす人数：		0人	
年齢		人数		その他	障害特性		人数	
～20代		0人			医療的ケアが必要な者		0人	
30代		0人			強度行動障害がある者		1人	
40代		5人						
50代		7人						
60代～		6人						

ソーシャルインクルーホーム千葉あすみが丘東

項目	評価の観点	【事業所記入欄】	評価・要望・助言（協議会記入欄）
3 利用者の主な日中の活動について	・GH内で主にどのような日中サービスを提供しているか。	（日中をGH内で過ごす利用者に対する支援・サービスの内容） ・通院同行・買い物同行や送迎・近隣の散歩等支援 ・各利用者様に合わせたレクリエーションの実施（いちご狩り等） ・近隣のイベントへの参加 ・入浴（個浴2箇所機械浴2か所の計4箇所）、排泄（トイレ8か所）、更衣、洗濯の支援（洗濯機7台乾燥機4台）食事（3食外部食材配送会社より栄養管理されたものを提供）、毎朝の通所先への外出準備等、基本的に身体状況やニーズに合わせて支援可能。 ・日中活動サービスを利用されていない方については、基本的には居室で趣味の音楽を聞いたりテレビを観ながらゆったりと過ごされている。運動不足解消のため週に1回散歩を楽しんでいる方もいる。	
	・外部の日中活動サービス等の利用人数及び内容について。	外部サービス 就労継続支援B型：5名（土日休み・精神状態に合わせて通う。） 生活介護：11名（土日は基本ホーム・通所方法も各々異なる）	
4 地域に開かれた運営について	・利用者に対して外出や余暇活動の支援に努めているか。	相談支援事業所様と相談しながら、必要な移動支援事業者様や訪問看護師も活用しながらホーム外での日中活動を支援している。 その他でも必要に応じて送迎や外出同行を行っている。	
	・家族や地域住民との交流の機会が確保されているか。	近隣で毎年お祭りがあるため希望者を募り参加している。 ご家族や友人に面会制限はないため時間のできた際にお気軽にお越しいただけるようにしている。	
	・体験的利用等のニーズに対応しているか。	（月平均の体験利用者数、体験利用の事例） ・ホーム構造上問題なければ随時受け付けている ・月平均0～2名 ・空室が出た際は関係先へ共有しトライアル（最長6泊7日）が利用可能	
	・土日を含めた常時の支援体制が確保されているか。	（職員の配置状況など） ・平日と土日は同様の職員数を配置している ・イベント参加の際は1～2名人員を追加確保し調整している	
	・地域連携推進会議の開催状況は。	令和7年は11月19日（水）に実施。（入居者様、ご家族、訪問理容事業者、相談支援事業所） ホームの説明、入居状況の報告、質疑応答などを行い、今後も連携を深めていくことを約束。今年度は8月に開催予定。	
	・地域連携推進会議の構成員に対する見学機会の提供状況は。	日頃より希望があれば随時実施している。ご利用者様の様子、設備の案内等ご希望があれば見学して頂いている。 地域連携推進会議当日はA棟の1Fと2Fを全て見学して頂いた。職員の1日の流れや実際に入居者様と話して頂く機会もあり、よりグループホームの運営に対する理解を深めて頂いたと感じている。	

ソーシャルインクルーホーム千葉あすみが丘東

項目	評価の観点	【事業所記入欄】	評価・要望・助言（協議会記入欄）
5 支援体制の確保・質の確保について	・支援の質の確保・向上に努めているか。（研修の実施など）	・定期ホーム研修を毎月実施しており、法令違反にならないよう本社から毎月の研修についてアナウンスがある。職員一人でも未実施の場合はエラー表示され確実な管理ができており年間スケジュールとして12ヶ月分の研修が確定している。・虐待防止身体拘束適正化に関する内容(委員会同時開催)・感染症対策(委員会同時開催)・避難訓練・BCPに関する研修等。ホーム職員25名～30名が実施。	
	・実習生やボランティアを積極的に受け入れているか。	直近での受け入れはないが、ホーム内で定期的にレクリエーションを開催しており、今後はボランティアを募って動物公園に行くことを検討している。	
	・災害時・緊急時の備えがなされているか。	・感染委員会の実施。年4回(2月、5月、8月、11月) ・避難訓練実施。年2回(3月、9月) その他、水や食事の準備をBCP計画に沿って完備している。また、年に1度BCPを見直し、備蓄品の在庫確認や期限切れの物資の交換も行っている。	
	・事故発生時の対応ができているか。	行政事故報告内容としては離設や服薬事故(落葉、人間違い、飲ませ忘れ)が主となる。事故発生時のマニュアルに沿って対応し、ご家族や後見人、相談員にも即時情報共有をさせて頂いている。	
	・苦情対応ができているか。	R7年度は2件苦情を頂いた。いずれも同じ入居者様から同じ職員に対するもので、態度や言葉遣いについてであった。職員に対して報告と事実確認をしたが、普段の勤務態度や他のご利用者様からの評価を総合的に考慮し、口頭注意や接遇マナー研修の振り返りでの対応としている。その後は苦情もなく安定したホーム運営が出来ている。	
6 短期入所の併設について	地域で生活する障害者を積極的に受け入れているか。	A棟にて1室、B棟にて1室短期入所の居室を設けているが、現在受け入れの実績は無い。関係機関と連携をとり緊急案件があれば受け入れられるように準備をしているが本入居を希望される方が多く、短期入所のみの利用実績には繋がられていない。	
	・緊急支援等の受け入れに対応しているか。	情報を精査し現在のホームの状況(特に設備)と照らし合わせ、対応可能か相談して受け入れられる体制を整えている。	
7 他事業所との連携	相談支援事業者や他のサービス事業所との連携を行っているか。	利用者様に必要と思われるサービスや支援の相談や支援者が困った事・本人が抱えている問題があればその都度連絡を行い相談している。基本的には毎月少なくとも1回は全利用者様の関係者を対象に現状報告を行っている。	
8 その他	・事業所独自の取り組みの有無	・玄関前のスロープ、各所に手摺を設置 ・お風呂場に介助リフト ・食事提供でリクエストにて食材の硬さやほぐしを行っている ・地域のイベントに積極的に参加している	

報告・評価シート

【報告日 R8年 06月 1日】
【評価日 年 月 日】

項目	【事業所記入欄】						
1 施設概要	事業所名	ソーシャルインクルーホーム千葉大日町		人員配置	日中		
	指定日	2024年 12月 1日			世話人	生活支援員	
	所在地	千葉市 花見川区 大日町1460-2			18人	6人	
	定員数（共同生活援助）	20人			（常勤換算後）	（常勤換算後）	
	定員数（短期入所）	2人			6.3人	4.1人	
	共同生活住居数	2戸			看護師の配置	☐ 有（ 人） ☒ 無	
	【住居の内訳】		【定員数の内訳】		夜間		
	住居名：ソーシャルインクルーホーム千葉大日町Ⅰ	10名			夜間支援員		
	住居名：ソーシャルインクルーホーム千葉大日町Ⅱ	10名			15人		
	住居名：	名			（常勤換算後）		
	住居名：	名			2.2人		
	住居名：	名			看護師の配置	☐ 有（ 人） ☒ 無	
	2 利用者状況 (令和 8年 6月 1日 現在)	障害支援区分	人数		内訳	主な障害種別利用者人数（重複はそれぞれ記入）	
非該当		0人		身体		総 数：	7人
区分 1		0人				主に日中GHで過ごす人数： 1人	
区分 2		0人		知的		総 数：	8人
区分 3		3人				主に日中GHで過ごす人数： 3人	
区分 4		11人		精神		総 数：	10人
区分 5		2人				主に日中GHで過ごす人数： 6人	
区分 6		4人		難病等		総 数：	1人
合計		20人				主に日中GHで過ごす人数： 0人	
年齢		人数		その他	障害特性		人数
～20代		4人			医療的ケアが必要な者	0人	
30代		6人			強度行動障害がある者	2人	
40代		2人					
50代		5人					
60代～		3人					

項目	評価の観点	【事業所記入欄】	評価・要望・助言（協議会記入欄）
3 利用者の主な日中の活動について	・ GH内で主にどのような日中サービスを提供しているか。	・ 食事(調理/配膳/見守り/声掛け/体調不良時の食時介助) ・ 排泄(見守り/声掛け/誘導/おむつ・パッド交換) ・ 入浴(見守り/声掛け/誘導/洗髪洗身/着脱/体重測定) ・ その他居室の清掃等、個別支援計画に則り支援を行う。 ・ 日中活動サービスを利用していない方についてはリビングでテレビ鑑賞したり居室でゆっくりと音楽を聴いている。また、職員提案の元、脳トレを楽しみながら行っている方が5名いらっしゃる。	
	・ 外部の日中活動サービス等の利用人数及び内容について。	・ 外部利用人数：11名(障害10名/介護1名) 以下内訳 ・ 生活介護：7名（土日は基本ホーム・通所方法も各々異なる） ・ 就労継続支援B型：3名（土日休み・精神状態に合わせて通う） ・ 介護デイサービス：1名(土日は基本ホーム)	
4 地域に開かれた運営について	・ 利用者に対して外出や余暇活動の支援に努めているか。	・ 買い物同行/散歩(近隣の神社等) ・ 季節の行事に合わせて内装の飾り付け ・ 利用者様個人の取組み(塗り絵/間違い探し/計算ドリル等) ・ ホーム全体のレクリエーションについては、サンドウィッチ作り、クリスマス会などを行っている。	
	・ 家族や地域住民との交流の機会が確保されているか。	(実施内容) ・ 通院/買い物同行時に挨拶を行うよう心掛けている。 ・ 近隣神社にて7月にお祭りが開催されるため、参加したいと考えている。	
	・ 体験的利用等のニーズに対応しているか。	(月平均の体験利用者数、体験利用の事例) ・ 有償体験なし。当社の無償体験(最長6泊7日のトライアル)を提供。6月1日現在満床。満床になるまでは1～2件/月のトライアルを実施。GHからの転居/退院後の入居等の受け入れ。	
	・ 土日を含めた常時の支援体制が確保されているか。	(職員の配置状況など) ・ 1F2F共に、24時間1名以上の配置をしている。 ・ 土日祝日/年末年始等も上記の配置をしている。	
	・ 地域連携推進会議の開催状況（又はその予定）は。	令和7年度は2026年1月27日(火)に地域連携推進会議を開催しております。（GHの入居者様、ご家族、医療関係者、相談支援事業所、就労支援事業所が参加）今年度は8月に開催予定となっております。	
	・ 地域連携推進会議の構成員に対する見学機会の提供状況（又はその予定）は。	・ 日頃より希望があれば随時実施している。ご利用者様の様子、設備の案内等ご希望があれば見学して頂いている。 ・ 地域連携推進会議当日は外観や周辺環境からご案内を行い、立地としては良くないが入居希望者の問い合わせや入職希望者が多いという状況を説明している。また、実際に働いているスタッフへ質問して頂いたり入居者様とも話して頂くなどしてホーム内部の特徴もご理解頂けた。	

項目	評価の観点	【事業所記入欄】	評価・要望・助言（協議会記入欄）
5 支援体制の確保・質の確保について	・支援の質の確保・向上に努めているか。（研修の実施など）	（実施・参加した研修名及び参加人数など） ・全職員に対し1回/月、以下の内容の研修を行っている。 ・虐待防止 身体拘束適正化(委員会)(2回)/感染症 (委員会)(2回) 食中毒/避難訓練(2回)/緊急対応/権利擁護/誤薬防止/障害特性/ハラスメント	
	・実習生やボランティアを積極的に受け入れているか。	直近での受け入れはないが、ホーム内で定期的にレクリエーションを開催しており、今後はボランティアを募りレクリエーションに参加して頂くことを検討している。	
	・災害時・緊急時の備えがなされているか。	・感染委員会の実施を年4回(2月、5月、8月、11月) 行っている。 ・避難訓練を年2回(3月、9月)実施している。 その他、水や食事の準備をBCP計画に沿って完備している。また、年に1度BCPを見直し、備蓄品の在庫確認や期限切れの物資の交換も行っている。	
	・事故発生時の対応ができているか。	（市に報告すべき案件について、主な内容・件数など） ・2025年 2件（人間違いの誤薬） ・2026年 2件（誤薬、他害） ・それぞれ、千葉市/援護地へ報告している。	
	・苦情対応ができているか。	（利用者・家族・地域住民からの主な内容・件数など） ・ご家族様 2024年 3件/ 2025年 0件（前管理者の対応速度等） ・2026年6月現在苦情無し。地域住民とも良好な関係性がとれている。	
6 短期入所の併設について	地域で生活する障害者を積極的に受け入れているか。	現在受け入れの実績は無い。満床のため短期入所については関係機関と連携をとりながら空室状況も伝えているが、本入居を希望される方が多く、短期入所のみ利用実績には繋がっていない。	
	・緊急支援等の受け入れに対応しているか。	緊急時に相談できる場所として、相談員や関係各機関とも連携を取りながらいつでも受け入れられる体制を整えている。	
7 他事業所との連携	相談支援事業者や他のサービス事業所との連携を行っているか。	（具体的な連携状況など） ・計画相談員とは最低1回/月は、電話・対面等にて情報共有を行っている。 ・通所先等には、送迎時等適宜情報共有を行っている。	
8 その他	・事業所独自の取り組みの有無	（その他、独自の工夫点がある場合記入） ※設備のバリアフリー化、食事の提供内容の工夫など ・施設内はバリアフリーとなっている。 ・食事は毎食職員が調理。食材発注業者の栄養士にて献立が決まっているため、バランスの良い温かい食事の提供を心掛けている。	

報告・評価シート

【報告日 令和8年6月12日】

【評価日 年 月 日】

項目	【事業所記入欄】											
1 施設概要	事業所名	みなもとホーム			人員配置	日中						
	指定日	令和5年3月1日				世話人	生活支援員					
	所在地	千葉市若葉区源町561-8				10人	9人					
	定員数（共同生活援助）	20人				（常勤換算後）	（常勤換算後）					
	定員数（短期入所）	1人				3.7人	7.2人					
	共同生活住居数	2戸				看護師の配置	☒ 有（1人） ☐ 無					
	【住居の内訳】		【定員数の内訳】			夜間						
	住居名：なつき(男性)		10名			夜間支援員						
	住居名：はるひ(女性)		10名			11人						
	住居名：		名			（常勤換算後）						
	住居名：		名			3.0人						
	住居名：		名			看護師の配置		☐ 有（人） ☒ 無				
	2 利用者状況 (令和8年6月12日現在)	障害支援区分	人数			内訳	主な障害種別利用者人数（重複はそれぞれ記入）					
		非該当	人				身体	総数：	2人			
区分1		人			主に日中GHで過ごす人数：0人							
区分2		人			知的		総数：	20人				
区分3		1人					主に日中GHで過ごす人数：0人					
区分4		3人			精神		総数：	1人				
区分5		4人					主に日中GHで過ごす人数：0人					
区分6		12人			難病等		総数：	1人				
合計		人					主に日中GHで過ごす人数：0人					
年齢		人数			その他	障害特性		人数				
～20代		人				医療的ケアが必要な者		2人				
30代		2人				強度行動障害がある者		0人				
40代		7人										
50代		7人										
60代～		4人										

みなもとホーム

項目	評価の観点	【事業所記入欄】	評価・要望・助言（協議会記入欄）
3 利用者の主な日中の活動について	・GH内で主にどのような日中サービスを提供しているか。	（日中をGH内で過ごす利用者に対する支援・サービスの内容） ※主に居室で過ごすか、共有スペースで過ごすかについても記載ください。 平日は日中系サービス等を利用しているため、事業所として恒常的に日中活動を提供する機会はない。 休日は体と心を休める時間となるため、個々に合わせた過ごしを提供している。	
	・外部の日中活動サービス等の利用人数及び内容について。	（利用人数（〇〇人中〇〇人等）、主な日中活動サービスの種類、利用先、休日の日中の過ごし方） 生活介護事業所に19名が通所。 一般企業（障害者雇用）に1名が出勤。	
4 地域に開かれた運営について	・利用者に対して外出や余暇活動の支援に努めているか。	（充実した地域生活を送るために実施している、外出や余暇活動など） 利用者が地域の社会資源を活用したり、外出、余暇活動の機会を定期的に提供している。 ・休日に近隣の商業施設等へ外出。 ・自治会主催の地域行事や納涼祭、餅つき大会へ参加。 ・バーベキュー大会、季節に合わせた創作作品作成プログラム、誕生日会、クリスマス会、新年会などの提供。 ・移動支援を利用する利用者に対し、事業所との連絡調整。	
	・家族や地域住民との交流の機会が確保されているか。	（実施内容） 地域行事には必ず参加。また、毎月の自治会定例会議には管理者が参加して情報共有をしている。年1回の地域連携推進会議には地域の関係者として自治会会長が参画している。ご家族については、令和6年度に家族会を実施して直接ご意見を伺う機会を設けた。令和7年度については、ご家族の高齢化による体調不良が重なり、みなもとホームへ来訪が難しく家族会は実施していない。しかしながら、ご家庭によっては毎週1回来訪されて近況を話し合ったり、居室やご本人の状況を確認してもらったりと、ご家族の来訪はいつでも受け入れている。体調不良によって来訪が難しいご家庭とも、連絡帳や電話連絡を通してやりとりを密にしている。	
	・体験の利用等のニーズに対応しているか。	（月平均の体験利用者数、体験利用の事例） 定員を満たしている為、空き部屋がなく体験利用の受け入れはしていない。その代わり、短期入所の受け入れにて体験利用のニーズに対応している。	
	・土日を含めた常時の支援体制が確保されているか。	（職員の配置状況など） 指定基準を満たす体制は常時確保している。	
	・地域連携推進会議の開催状況は。	（令和7年度の開催日、構成員（人数）、会議の内容など）令和7年9月7日(日)に実施。利用者1人・家族1人・地域の関係者1人・福祉に知見ある関係者1人(千葉市手をつなぐ育成会理事)・経営に知見ある関係者1人(社会福祉法人パルネット理事長)が参加。法人・事業所の紹介、虐待防止の取り組み、地域からの情報共有等、構成員からの講評、各住居見学を実施。なお、若葉保健福祉センター、若葉区障害者基幹相談支援センターには参加を打診したが今回は不参加の回答をいただいた。	
	・地域連携推進会議の構成員に対する見学機会の提供状況は。	（令和7年度の住居ごとの実施時期及び方法、見学内容など） ・令和7年9月7日(日)、なつき、はるひの住居見学。 ・見学者は、地域線形推進会議参加構成員全員。 ・住居内外の設備、昼食の内容、各居室の状態を直接確認していただく。	

みなもとホーム

項目	評価の観点	【事業所記入欄】	評価・要望・助言（協議会記入欄）
5 支援体制の確保・質の確保について	・支援の質の確保・向上に努めているか。（研修の実施など）	（実施・参加した研修名及び参加人数など）毎月開催する職員会議にて、職員委員会が中心となって支援の質向上を目的としたワークを実施。また、法人全体として年2回の虐待防止研修を実施。その他、自己研鑽の機会として常時視聴可能なオンライン研修の環境を用意。	
	・実習生やボランティアを積極的に受け入れているか。	（受け入れ人数など） 実習生 0人、ボランティア 0人 その他（ ） 0人	
	・災害時・緊急時の備えがなされているか。	（災害、急な体調不良などへの対応方法、訓練の実施状況など）法人全体で、夜間参集訓練も含めた災害対策訓練を年3回程度実施。緊急時の備蓄品は、非常用電源(ポータブル非常発電機（充電式）・ガスボンベ式発電機1台)も含めて1週間程度を備蓄している。（停電時に自動で切り替わる非常電源もある）	
	・事故発生時の対応ができているか。	（市に報告すべき案件について、主な内容・件数など） 令和7年度は2件。 転倒から顔を切ってしまい、病院にて縫合処置を受けた事故。ご自宅帰省時に、薬を渡し忘れてしまい、服薬漏れの事故。	
	・苦情対応ができているか。	（利用者・家族・地域住民からの主な内容・件数など） 令和7年度は苦情なし。その他、ちょっとしたご要望やご意見についてはその都度真摯に対応するよう努めている。	
6 短期入所の併設について	地域で生活する障害者を積極的に受け入れているか。	定員1名ではあるが、可能な限り受け入れをしてきた。 令和7年度実績 延べ317人	
	・緊急支援等の受け入れに対応しているか。	（受入体制、受入の対応など） ご家族やご本人の状況をお聞きし、可能なかぎり受け入れをしてきたが、定員1名の為、緊急受け入れが難しくお断りすることも多かった。	
7 他事業所との連携	相談支援事業者や他のサービス事業所との連携を行っているか。	（具体的な連携状況など） ・日中系サービス事業所には連絡ノートや適宜の電話連絡を密に行っている。 ・相談支援専門員も同様に利用者の心身等の状態の変化を電話連絡で共有している。個別支援計画の送付も行っている。 ・移動支援事業所、訪問看護事業所、訪問歯科事業所、訪問薬局事業所とも日常的に連絡調整及び体調等の変化について密に連携を取っている。 ・介護認定を受けている利用者においては、ケアマネージャーとの連携も図り、成年後見制度を活用している利用者には成年後見人等とも密に連絡を取っている。	
8 その他	・事業所独自の取り組みの有無	（その他、独自の工夫点がある場合記入）※設備のバリアフリー化、食事の提供内容の工夫など ・事業所全体はバリアフリー化している。 ・食事の提供は、毎食ごとに調理を行っており、利用者の摂食嚥下機能に合わせた食形態を個別で提供している。 ・法人全体で大規模災害を想定した事業継続訓練を実施しており、日常のバックアップのみならず緊急時の体制整備の備えも行っている。	

報告・評価シート

【報告日 2026年 6月 15日】

【評価日 年 月 日】

項目	【事業所記入欄】											
1 施設概要	事業所名		クライスハイム千葉高根町事業所			人員配置	日中					
	指定日		2023年 4月 1日				世話人		生活支援員			
	所在地		千葉市若葉区高根町350-1				6人		4人			
	定員数（共同生活援助）		20人				（常勤換算後）		（常勤換算後）			
	定員数（短期入所）		2人				3.375人		2.1人			
	共同生活住居数		2戸				看護師の配置		□有（ 人） ☒ 無			
	【住居の内訳】		【定員数の内訳】				夜間					
	住居名：クライスハイム高根町Ⅰ		10名				夜間支援員					
	住居名：クライスハイム高根町Ⅱ		10名				6人					
	住居名：		名				（常勤換算後）					
	住居名：		名				3.375人					
	住居名：		名				看護師の配置		□有（ 人） ☒ 無			
	2 利用者状況 （令和 8年 6月 1日 現在）	障害支援区分		人数			内訳	主な障害種別利用者人数（重複はそれぞれ記入）				
		非該当		0人				身体	総 数： 4人			
					主に日中GHで過ごす人数： 3人							
区分 1		0人			知的	総 数： 1人						
						主に日中GHで過ごす人数： 1人						
区分 2		0人			精神	総 数： 5人						
						主に日中GHで過ごす人数： 3人						
区分 3		2人			難病等	総 数： 1人						
						主に日中GHで過ごす人数： 1人						
区分 4		3人										
区分 5		1人										
区分 6		2人										
合計		8人										
年齢		人数			その他	障害特性		人数				
～20代		0人				医療的ケアが必要な者		0人				
30代		0人				強度行動障害がある者		0人				
40代		1人										
50代		4人										
60代～		3人										

クライスハイム千葉高根町事業所

項目	評価の観点	【事業所記入欄】	評価・要望・助言（協議会記入欄）
3 利用者の主な日中の活動について	・GH内で主にどのような日中サービスを提供しているか。	（日中をGH内で過ごす利用者に対する支援・サービスの内容） ※主に居室で過ごすか、共有スペースで過ごすかについても記載ください。 利用者の大半は居室で過ごされる。一部の方は共有スペースで塗り絵やテレビ鑑賞や利用者同士や職員との談笑される。 利用者のレクリエーション対応（まちがいさがし、ぬり絵）、排泄介助・誘導、おやつ提供、入浴介助・誘導等を行っている。	
	・外部の日中活動サービス等の利用人数及び内容について。	（利用人数（〇〇人中〇〇人等）、主な日中活動サービスの種類、利用先、休日の日中の過ごし方） 生活介護 2名 就労継続支援B型 1名（在宅） 休日は主に居室で過ごされている。	
4 地域に開かれた運営について	・利用者に対して外出や余暇活動の支援に努めているか。	（充実した地域生活を送るために実施している、外出や余暇活動など） 毎年12月にクリスマスイベント（施設内） 外食の希望者の為に相談員と相談して外部サービス利用の活用を検討中	
	・家族や地域住民との交流の機会が確保されているか。	（実施内容） 毎月1回程度定期的なご家族の来所	
	・体験的利用等のニーズに対応しているか。	（月平均の体験利用者数、体験利用の事例） 入居前の体験利用実施 6月1名、7月1名体験利用予定	
	・土日を含めた常時の支援体制が確保されているか。	（職員の配置状況など） 平日土日共職員を同等に配置している。 欠員がでた場合はカイトク等のサービスを利用して人員確保を行っている。	
	・地域連携推進会議の開催状況は。	（令和7年度の開催日、構成員（人数）、会議の内容など） 令和8年2月28日開催 自治会長、民生委員、利用者、管理者参加 施設の見学、サービス内容の説明、質疑応答等	
	・地域連携推進会議の構成員に対する見学機会の提供状況は。	（令和7年度の住居ごとの実施時期及び方法、見学内容など） 地域連携推進会議で見学実施済み	

クライスハイム千葉高根町事業所

項目	評価の観点	【事業所記入欄】	評価・要望・助言（協議会記入欄）
5 支援体制の確保・質の確保について	・支援の質の確保・向上に努めているか。（研修の実施など）	（実施・参加した研修名及び参加人数など） 動画視聴アプリにて全職員が毎月実施。 虐待防止、身体拘束、感染症予防等	
	・実習生やボランティアを積極的に受け入れているか。	（受け入れ人数など） 受入れ無し	
	・災害時・緊急時の備えがなされているか。	（災害、急な体調不良などへの対応方法、訓練の実施状況など） 施設内BCPマニュアル常備 5月28日消防訓練実施	
	・事故発生時の対応ができているか。	（市に報告すべき案件について、主な内容・件数など） 事故発生時には社内事故報告システムを活用し報告 令和7年、市への事故報告は6件。誤薬、救急搬送等。	
	・苦情対応ができているか。	（利用者・家族・地域住民からの主な内容・件数など） 苦情発生に関して管理者より社内システムを活用し苦情報告 令和7年、苦情なし。	
6 短期入所の併設について	地域で生活する障害者を積極的に受け入れているか。	（前年度の受入人数など） 千葉市の受け入れ人数6名	
	・緊急支援等の受け入れに対応しているか。	（受入体制、受入の対応など） 現時点での緊急受け入れ無し	
7 他事業所との連携	相談支援事業者や他のサービス事業所との連携を行っているか。	（具体的な連携状況など） 若葉区障害者基幹相談支援センターとのやり取り有	
8 その他	・事業所独自の取り組みの有無	（その他、独自の工夫点がある場合記入） 食事はすべて手作りで提供	

報告・評価シート

【報告日 2026年 6月 12日】

【評価日 年 月 日】

項目	【事業所記入欄】										
1 施設概要	事業所名		ドットホーム 千葉（医療対応型障がい者グループホーム）		人員配置	日中					
	指定日		2023年 8月 1日			世話人		生活支援員			
	所在地		千葉市稲毛区園生町1281番地1			9人		27人			
	定員数（共同生活援助）		40人			（常勤換算後）		（常勤換算後）			
	定員数（短期入所）		4人			7.3人		13.5人			
	共同生活住居数		4戸			看護師の配置		□有（ 人） ☒ 無			
	【住居の内訳】		【定員数の内訳】			夜間					
	住居名：ドットホーム 園生Ⅰ（医療対応型障がい者グループホーム）		10名			夜間支援員					
	住居名：ドットホーム 園生Ⅱ（医療対応型障がい者グループホーム）		10名			29人					
	住居名：ドットホーム 長沼原（医療対応型障がい者グループホーム）		10名			（常勤換算後）					
	住居名：ドットホーム 誉田（医療対応型障がい者グループホーム）		10名			4.5人					
	住居名：		名			看護師の配置		□有（ 人） ☒ 無			
	2 利用者状況 (令和8年6月8日現在)	障害支援区分		人数		内訳	主な障害種別利用者人数（重複はそれぞれ記入）				
		非該当		0人			身体	総 数：		17人	
区分 1		0人		主に日中GHで過ごす人数：				13人			
区分 2		0人		知的	総 数：		8人				
区分 3		1人			主に日中GHで過ごす人数：		8人				
区分 4		6人		精神	総 数：		4人				
区分 5		3人			主に日中GHで過ごす人数：		4人				
区分 6		18人		難病等	総 数：		4人				
合計		28人			主に日中GHで過ごす人数：		4人				
年齢		人数		その他	障害特性		人数				
～20代		3人			医療的ケアが必要な者		16人				
30代		1人			強度行動障害がある者		0人				
40代		3人									
50代		15人									
60代～		6人									

ドットホーム 千葉（医療対応型障がい者グループホーム）

項目	評価の観点	【事業所記入欄】	評価・要望・助言（協議会記入欄）
3 利用者の主な日中の活動について	・GH内で主にどのような日中サービスを提供しているか。	・見守り支援 ・面会対応 ・外出時の支援 居室で過ごされる利用者は多いが、リビングでTVを見ながら過ごされる方もいる。	
	・外部の日中活動サービス等の利用人数及び内容について。	・生活介護 ドットステイ 都賀Ⅰ（医療多機能型生活介護） 13名 ディアフレンズ美浜 1名	
4 地域に開かれた運営について	・利用者に対して外出や余暇活動の支援に努めているか。	利用者の外出については、外部支援者による付き添いを基本としており、事業所では事前準備や必要時の助言を行っている。 医療依存度の高い利用者がライブ等へ参加する際には、必要に応じて医療機関への確認や連携を実施している。 誤嚥リスクの高い利用者に対しては、経口摂取の継続に向けて言語聴覚士によるリハビリの調整や医療機関との連携を行っている。必要時の離床援助など、施設内で実施可能なリハビリ支援を行っている。	
	・家族や地域住民との交流の機会が確保されているか。	機会が確保されている。 家族との交流は面会制限が無いため24時間に対応が可能。 外泊支援も進めている。	
	・体験的利用等のニーズに対応しているか。	1件実績があり、その後、入所した。 希望があれば随時対応できる体制である。	
	・土日を含めた常時の支援体制が確保されているか。	常時の支援体制が確保されている。	
	・地域連携推進会議の開催状況は。	・令和7年9月8日実施 ・構成員 5名（利用者、利用者家族、民生委員、事業所管理者、事業所職員各1名） ・事業紹介、近隣とのかかわりについて、構成員からの質疑応答等	
	・地域連携推進会議の構成員に対する見学機会の提供状況は。	・令和7年10月17日実施 ・ドットホーム 園生Ⅰ・Ⅱ、長沼原を見学いただく ・各拠点の違いと連携について説明し、見学を実施 （違い：ドットホーム園生は医療対応型、ドットホーム長沼原は医療対応型ではない点。 連携：ドットホーム長沼原の入居者の中で医療対応が必要になった方について、ドットホーム園生に移っていただくケースあり）	

ドットホーム 千葉（医療対応型障がい者グループホーム）

項目	評価の観点	【事業所記入欄】	評価・要望・助言（協議会記入欄）
5 支援体制の確保・質の確保について	・支援の質の確保・向上に努めているか。（研修の実施など）	職員に対しサービス品質に関する下限品質基準を設けている。 業務知識、コンプライアンス等のオンラインの研修を実施している。	
	・実習生やボランティアを積極的に受け入れているか。	実績はないが希望があれば検討する。	
	・災害時・緊急時の備えがなされているか。	・避難訓練 ・感染症対策委員会の実施	
	・事故発生時の対応ができていますか。	R7年度 事故報告書提出 4件 ・救急搬送 ・配薬漏れ ・OD（プロン液1瓶を完飲）	
	・苦情対応ができていますか。	主な苦情対応 ・職員の対応について その他利用者、家族へ都度対応し問題解決に努めている。	
6 短期入所の併設について	地域で生活する障害者を積極的に受け入れているか。	実績7名	
	・緊急支援等の受け入れに対応しているか。	実績はないが希望があれば検討する。	
7 他事業所との連携	相談支援事業者や他のサービス事業所との連携を行っているか。	相談支援事業所、介護支援事業所、医療機関など連携を都度実施している。	
8 その他	・事業所独自の取り組みの有無	設備のバリアフリー化、食事の提供内容の工夫、入浴機器の導入、非常時の携帯バッテリー導入など	

報告・評価シート

【報告日2026年6月12日】

【評価日 年 月 日】

項目	【事業所記入欄】								
1 施設概要	事業所名		ビーハック日中支援型障がい者グループホーム千葉		人員配置	日中			
	指定日		2023年10月1日			世話人 生活支援員			
	所在地		千葉市中央区生実町989-1			8人 7人			
	定員数（共同生活援助）		20人			（常勤換算後） （常勤換算後）			
	定員数（短期入所）		2人			3.6人 3.9375人			
	共同生活住居数		2戸			看護師の配置 ■有（1人） □無			
	【住居の内訳】		【定員数の内訳】			夜間			
	住居名：ビーハック千葉A		10名			夜間支援員			
	住居名：ビーハック千葉B		10名			9人			
	住居名：		名			（常勤換算後）			
	住居名：		名			2.49人			
	住居名：		名			看護師の配置 □有（人） ■無			
	2 利用者状況 (令和8年6月12日現在)	障害支援区分		人数		内訳	主な障害種別利用者人数（重複はそれぞれ記入）		
		非該当		人			身体	総 数： 6人	
区分 1		人		主に日中GHで過ごす人数： 3人					
区分 2		人		知的	総 数： 4人				
区分 3		9人			主に日中GHで過ごす人数： 1人				
区分 4		7人		精神	総 数： 8人				
区分 5		2人			主に日中GHで過ごす人数： 2人				
区分 6		人		難病等	総 数： 人				
合計		人			主に日中GHで過ごす人数： 人				
年齢		人数		その他	障害特性 人数				
～20代		2人			医療的ケアが必要な者 0人				
30代		2人			強度行動障害がある者 0人				
40代		9人							
50代		4人							
60代～		1人							

ビーハック日中支援型障がい者グループホーム千葉

項目	評価の観点	【事業所記入欄】	評価・要望・助言（協議会記入欄）
3 利用者の主な日中の活動について	・GH内で主にどのような日中サービスを提供しているか。	施設内で日中を過ごす方には散歩に連れて行くやリビングで軽度のレクリエーションを実施。 また月2度程度の外出会を開催。（希望者のみ参加）参加者多数の場合は1便、2便制度。基本は近隣のショッピングセンターで買い物。	
	・外部の日中活動サービス等の利用人数及び内容について。	（利用人数（18人中12人） 主な日中活動策は就労A及びB型事業所への通所です。 就労A：ノーマライゼーション未来（2名） 就労B：ドットワーク蘇我、ゆいファーム（在宅と通所の併用1名・在宅のみ2名）	
4 地域に開かれた運営について	・利用者に対して外出や余暇活動の支援に努めているか。	休日は施設で過ごすだけではなく可能な限り外出を促し、趣味や余暇活動を進めています。	
	・家族や地域住民との交流の機会が確保されているか。	家族との交流は施設訪問や外泊を行って頂き、交流の機会を持つようにしております。 地域交流は近隣の掃除等に施設全員でなるべく参加する様にして周辺から障害者の地域移行の理解を求めています。	
	・体験的利用等のニーズに対応しているか。	月2件程度の体験入居を受け付けております。 体験は本人、家族が納得し施設側と信頼関係が築けるまで回数を限定せず実施しております。」	
	・土日を含めた常時の支援体制が確保されているか。	日勤帯は可能な限り3名以上の配置を心掛けております。	
	・地域連携推進会議の開催状況は。	（令和7年度の開催日、構成員（人数）、会議の内容など） 実施日：R8.4（令和7年度分として実施） 人数：4名（施設職員2名、相談支援員1名、保護者1名） 内容：地域との関わりについて	
	・地域連携推進会議の構成員に対する見学機会の提供状況は。	（令和7年度の住居ごとの実施時期及び方法、見学内容など） 入居者家族の施設見学実施：2回（R7年4月12日） 見学内容：日常生活の確認と食事会	

ビーハック日中支援型障がい者グループホーム千葉

項目	評価の観点	【事業所記入欄】	評価・要望・助言（協議会記入欄）
5 支援体制の確保・質の確保について	・支援の質の確保・向上に努めているか。（研修の実施など）	（実施・参加した研修名及び参加人数など） 介護職員初任者研修 3名	
	・実習生やボランティアを積極的に受け入れているか。	（受け入れ人数など） 実習生 0 人、ボランティア 2 人 その他（ ） 人	
	・災害時・緊急時の備えがなされているか。	（災害、急な体調不良などへの対応方法、訓練の実施状況など） 非常用持出袋の各部屋配備と避難訓練の実施	
	・事故発生時の対応ができているか。	（市に報告すべき案件について、主な内容・件数など） 特に事故はありませんでした。	
	・苦情対応ができているか。	（利用者・家族・地域住民からの主な内容・件数など） 特に苦情はありませんが、苦情対応窓口の設置は行っておりません。	
6 短期入所の併設について	地域で生活する障害者を積極的に受け入れているか。	（前年度の受入人数など） 短期入所：1名	
	・緊急支援等の受け入れに対応しているか。	（受入体制、受入の対応など） 依頼があれば随時対応しております。	
7 他事業所との連携	相談支援事業者や他のサービス事業所との連携を行っているか。	（具体的な連携状況など） JOCCA相談支援事業、ハレクラ船橋と連携し入居希望者の受け入れを行っております。	
8 その他	・事業所独自の取り組みの有無	（その他、独自の工夫点がある場合記入） 身体介助補助具の積極的導入	

報告・評価シート

【報告日 令和 8年 6月 1日】

【評価日 令和 8年 月 日】

項目	【事業所記入欄】							
1 施設概要	事業所名		日中サービス支援型 グループホームひだまり東寺山		人員配置	日中		
	指定日		令和 6 年 5 月 1 日			世話人 生活支援員		
	所在地		千葉県若葉区東寺山町1067-1			4人 6人		
	定員数（共同生活援助）		8人			(常勤換算後) (常勤換算後)		
	定員数（短期入所）		1人			2.0人 2.9人		
	共同生活住居数		1戸			看護師の配置 ☐ 有 (人) ☒ 無		
	【住居の内訳】		【定員数の内訳】			夜間		
	住居名：日中サービス支援型グループホームひだまり東寺山		8名			夜間支援員		
	住居名：		名			4 人		
	住居名：		名			(常勤換算後)		
	住居名：		名			0.4人		
	住居名：		名			看護師の配置 ☐ 有 (人) ☒ 無		
	2 利用者状況 (令和8年6月1日現在)	障害支援区分		人数		内訳	主な障害種別利用者人数（重複はそれぞれ記入）	
非該当		人		身体	総 数： 3人			
					主に日中GHで過ごす人数： 3人			
区分 1		人		知的	総 数： 5人			
					主に日中GHで過ごす人数： 1人			
区分 2		人		精神	総 数： 3人			
					主に日中GHで過ごす人数： 3人			
区分 3		人		難病等	総 数： 0人			
					主に日中GHで過ごす人数： 0人			
区分 4		1人						
区分 5		3人						
区分 6		4人						
合計		8人						
年齢		人数		その他	障害特性			
～20代		0人			医療的ケアが必要な者			
30代		1人			強度行動障害がある者			
40代		0人						
50代		2人						
60代～		5人						

項目	評価の観点	【事業所記入欄】	評価・要望・助言（協議会記入欄）
3 利用者の主な日中の活動について	・GH内で主にどのような日中サービスを提供しているか。	（日中をGH内で過ごす利用者に対する支援・サービスの内容） ・居室で過ごす方 4 名。共有スペースで過ごす方 4 名 ・共有スペースで過ごす方は、歌を聞いたり、レクをしたり、職員と日常会話をして過ごしています ・リハビリ目的や身体機能面の低下を目的とした手先の作業などに取り組んでいる方もいます ・病院受診同行する方もいます	
	・外部の日中活動サービス等の利用人数及び内容について。	（利用人数（〇〇人中〇〇人等）、主な日中活動サービスの種類、利用先、休日の日中の過ごし方） ・B型就労⇒ドットワーク西千葉 1名 ・生活介護⇒桜が丘晴山苑 1名・ドットステイ都賀 1名・みらい 工房だいち 1名 ・小規模多機能 ケアセンターひだまりの家 3名	
4 地域に開かれた運営について	・利用者に対して外出や余暇活動の支援に努めているか。	（充実した地域生活を送るために実施している、外出や余暇活動など） ・外出については、高齢の方多く、自発的にはあまり行きたがらないが、体調体力に合わせて可能な限り実施 ・時々近所の公園まで散歩に行きます	
	・家族や地域住民との交流の機会が確保されているか。	（実施内容） ・家族はいつでも来れる体制としております（面会自由） ・消防訓練を近隣住民と合同で実施した ・若葉区ボランティア団体の行事に参加した（紙芝居）	
	・体験的利用等のニーズに対応しているか。	（月平均の体験利用者数、体験利用の事例） ・空室の状況がないため、体験利用はほとんど実施できていない ・空室時に体験利用の希望がある際には積極的に受け入れます	
	・土日を含めた常時の支援体制が確保されているか。	（職員の配置状況など） ・常時、日中は職員2～3名を配置しています ・夜間、2名配置体制としています	
	・地域連携推進会議の開催状況は。	（令和7年度の開催日、構成員（人数）、会議の内容など） 開催時期：令和8年3月10日（火）16:00～16:50開催。 構成員：成年後見人・訪問薬剤師・若葉区基幹・近隣住民・介護保険関係者・福祉用具会社・利用者・GH管理者等、計12名。 内容①施設・地域の連携 ②サービスの透明性・質の確保 ③権利擁護	
	・地域連携推進会議の構成員に対する見学会の提供状況は。	（令和7年度の住居ごとの実施時期及び方法、見学内容など） 日時：令和8年3月10日（火）15:30～16:00 参加者：推進会議参加者	

項目	評価の観点	【事業所記入欄】	評価・要望・助言（協議会記入欄）
5 支援体制の確保・質の確保について	・支援の質の確保・向上に努めているか。（研修の実施など）	（実施・参加した研修名及び参加人数など） 毎月事業所で開催している各委員会（身体拘束・虐待・感染症・BCP等）を事業所内職員に周知して現場の研修会として行っている	
	・実習生やボランティアを積極的に受け入れているか。	（受け入れ人数など） 実習生 0人、ボランティア 0人	
	・災害時・緊急時の備えがなされているか。	（災害、急な体調不良などへの対応方法、訓練の実施状況など） ・災害対策マニュアル・緊急時の対応マニュアルを整備している。 ・消防訓練は年に2回行っている。（6月・12月） ・感染症委員会開催月（5月・7月・10月・2月） ・BCP訓練と研修の実施（年2回）	
	・事故発生時の対応ができているか。	（市に報告すべき案件について、主な内容・件数など） 過去の事故発生の内容は、2件 ①誤薬 ②体調不良による救急搬送	
	・苦情対応ができているか。	（利用者・家族・地域住民からの主な内容・件数など） 現在まで苦情はないが、相談窓口は設置している	
6 短期入所の併設について	地域で生活する障害者を積極的に受け入れているか。	（前年度の受入人数など） 受け入れ人数⇒11名 延べ宿泊日数⇒198日 ・地域生活支援拠点登録し、各区機関や各相談支援事業所に短期入所の受け入れの案内は行っている	
	・緊急支援等の受け入れに対応しているか。	（受入体制、受入の対応など） ・前年度は1件の緊急受け入れを行った。 （同居している母が緊急入院となり、息子様の緊急受け入れとサービス開始、手続きの申請等） ・地域生活支援拠点登録し、各事業所及び各区基幹相談に緊急受け入れの対応をしていることは常に案内している	
7 他事業所との連携	相談支援事業者や他のサービス事業所との連携を行っているか。	（具体的な連携状況など） ・みらい工房（相談支援、生活介護）、若葉区基幹、若葉区高齢障害 同居している母が緊急入院となり、息子様の緊急受け入れとサービス開始、手続きの申請等	
8 その他	・事業所独自の取り組みの有無	（その他、独自の工夫点がある場合記入） 事業所はエレベーター完備し、事業所内はバリアフリーのため車いす対応が可能な住居となっている。身体介護を得意とする職員が多数在籍するため、利用者の重度化にも対応できている。食事は調理専門スタッフが手作りし、刻みやミキサー食も対応している。	

報告・評価シート

【報告日 2026 年 6月 9日】

【評価日 年 月 日】

項目	【事業所記入欄】					
1 施設概要	事業所名		AMANEKU千葉大木戸町		人員配置	
	指定日		2025年 3月 1日			
	所在地		千葉県千葉市緑区大木戸町1405-9 千葉県千葉市緑区大木戸町1405-10			
	定員数（共同生活援助）		40人			
	定員数（短期入所）		4人			
	共同生活住居数		4戸			
	【住居の内訳】		【定員数の内訳】			
	AMANEKU千葉大木戸町A棟1階		10名			
	AMANEKU千葉大木戸町A棟2階		10名			
	AMANEKU千葉大木戸町B棟1階		10名			
	AMANEKU千葉大木戸町B棟2階		10名			
	住居名：		名			
2 利用者状況 (令和8年6月10日現在)	障害支援区分		人数		内訳	
	非該当		0人			
	区分1		0人			
	区分2		0人			
	区分3		4人			
	区分4		9人			
	区分5		6人			
	区分6		0人			
	合計		19人			
	年齢		人数			
	～20代		1人			
	30代		1人			
	40代		7人			
	50代		3人			
	60代～		7人			
	その他		障害特性		人数	
			医療的ケアが必要な者		0人	
			強度行動障害がある者		0人	
			主な障害種別利用者人数（重複はそれぞれ記入）			
			身体	総数：	6人	
主に日中GHで過ごす人数：				2人		
知的	総数：	5人				
	主に日中GHで過ごす人数：		4人			
精神	総数：	8人				
	主に日中GHで過ごす人数：		3人			
難病等	総数：	0人				
	主に日中GHで過ごす人数：		0人			

AMANEKU千葉大木戸町

項目	評価の観点	【事業所記入欄】	評価・要望・助言（協議会記入欄）
3 利用者の主な日中の活動について	・ GH内で主にどのような日中サービスを提供しているか。	・ 生活支援（食事、排泄、入浴、更衣、整容、金銭管理、起床支援、夜間巡回、通所への送り出しなど） ・ 健康管理（服薬支援、通院同行、健康維持のための運動、訪問診療や訪問看護との連携、緊急時対応、、入退院支援など） ・ 余暇活動支援（居室清掃、買い物支援、調理レク、作品製作など） 外部の日中活動サービスを利用されていない方はご自身のお部屋で過ごされたり共有スペースでテレビをご覧になられたりグループホームの近くを散歩されたりとご自身のペースで過ごされている。	
	・ 外部の日中活動サービス等の利用人数及び内容について。	他の日中活動サービスを利用 利用 19名中 9名 （主な他の日中活動サービス種別・利用先） 【生活介護】 晴山苑、若葉泉の里、アガベの里、デイジー 【就労継続支援B型事業所】 ワクワーク、みらい工房	
4 地域に開かれた運営について	・ 利用者に対して外出や余暇活動の支援に努めているか。	利用者本人と買い物支援を行っている。また近隣の散歩にも同行支援を実施。また当ホームには福祉車両があるので、車椅子ごと2名乗車が可能な為、外出が可能。	
	・ 家族や地域住民との交流の機会が確保されているか。	夏の地域清掃活動等に参加実施。（自治会に加入している。）	
	・ 体験の利用等のニーズに対応しているか。	（体験利用人数） 令和7年3月～令和8年5月の体験人数は 35名 （体験利用の事例） 弊社オリジナルの施策で最大2泊3日の無料体験を実施。また要望に応じて受給者証を使用した体験入居の機会も積極的におすすめしている。	
	・ 土日を含めた常時の支援体制が確保されているか。	（職員の配置状況など） ・ 常時、各フロア2名以上の職員配置ができています。	
	・ 地域連携推進会議の開催状況は。	令和8年1月21日14:00～開催 構成員：利用者様1名、ご家族1名、支援員3名、サビ管1名、（法人）福祉課地域連携1名、自治会長大曾根様、緑区基幹GHワーカー松中様、相談支援事業所母子ネット（長生郡）理事長汐田様 参加人数：10名 会議の内容：利用者様の生活の様子 AMATUHI私たちの会社について	
	・ 地域連携推進会議の構成員に対する見学機会の提供状況は。	（令和7年度の住居ごとの実施時期及び方法、見学内容など） 地域連携推進会議の開催日と同日に実施。 構成員全員に対しB棟1階を見学していただき設備について説明させていただいた。	

AMANEKU千葉大木戸町

項目	評価の観点	【事業所記入欄】	評価・要望・助言（協議会記入欄）
5 支援体制の確保・質の確保について	・支援の質の確保・向上に努めているか。（研修の実施など）	（実施・参加した研修名及び参加人数など） 虐待防止・身体拘束適正化研修 2026年1月 支援力の向上3研修 2026年2月 防災防犯研修 2026年3月 ホームルールと社会理解研修 2026年4月 虐待防止・身体拘束適正化研修 2026年5月 緊急時・災害時対応研修 2026年6月	
	・実習生やボランティアを積極的に受け入れているか。	（受け入れ人数など） 実習生 4人 ミャンマーから来られた特定技能生を受け入れています。	
	・災害時・緊急時の備えがなされているか。	（災害、訓練の実施状況など） 避難経路の掲示、各居室にヘルメット設置。 BCP（半年に1度見直し必要に応じ更新） 年2回（3.9月）に避難訓練を実施 （緊急時の対応方法（急な体調変化等） 協力医療機関と契約済み。また24時間対応の往診医、自社訪問看護が介入している 毎日、バイタル測定を行い記録している。異常が見られる方には訪問看護と共有し指示を貰っている。 夜間などの緊急時にもホーム長に連絡し指示を貰えるようにしている。 ホーム長と連絡が取れない場合はスーパーバイザーが対応。	
	・事故発生時の対応ができているか。	（市に報告すべき案件について、主な内容・件数など） 0件	
	・苦情対応ができているか。	（利用者・家族・地域住民からの主な内容・件数など） 苦情窓口の設定 R7 3件 ①利用者様から食事提供の方法や洗濯方法についての苦情 ②賞味期限切れの食材が勝手に捨てられた ③入浴日に入浴できていない	

6 短期入所の併設について	地域で生活する障害者を積極的に受け入れているか。	1階ショートステイ 利用人数9名、延べ利用26件(キャンセル1件含む)、利用延べ日数66日。利用日数は最小1日、最大5日、平均2.6日。1名のリピーターの利用者が13回33日と全体の50%を占め、主要利用者となっている。 2階ショートステイ 利用人数6名、延べ利用23件(キャンセル1件含む)、利用延べ日数105日。利用日数は最小1日、最大12日、平均4.8日。1名のリピーターの利用者が11回49日と全体の47%を占め、主要利用者となっている。まとめ総利用人数15名、総延べ利用49件(実利用47件)、総利用延べ日数171日、全体平均利用日数3.6日。2025年3月から2026年1月の約10ヶ月間で、1階は短期利用中心、2階は中期利用中心の運営となっており、特定利用者の継続的利用が稼働の中心を担っている。	
	・緊急支援等の受け入れに対応しているか。	(緊急受入人数) 1名 (緊急受入事例) 若葉区の特別支援学校より、精神病院退院後、実家への帰省するまでの数日間、緊急受け入れに協力した事例あり。	
7 他事業所との連携	相談支援事業者や他のサービス事業所との連携を行っているか。	(具体的な連携状況など) 計画相談：ホームでの様子連携やご本人の困りごと共有、福祉サービス追加の相談、入居希望者のご紹介、支援チーム形成など	
8 その他	・事業所独自の取り組みの有無	(その他、独自の工夫点がある場合記入) ・毎月の職員ミーティングにてホーム内の改善事項について話し合い、方向性を確認 ・地域の方、関係機関などからのホーム見学希望は積極的に受け入れている。 ・生活の場であっても清潔感を大切にしている。	

報告・評価シート

【報告日 2026年 6月 9日】
【評価日 年 月 日】

項目	【事業所記入欄】								
1 施設概要	事業所名		AMANEKU千葉加曽利町		人員配置	日中			
	指定日		2025年3月1日 2025年5月1日 2026年2月1日			世話人生活支援員			
	所在地		千葉市若葉区加曽利町1485-7 千葉市若葉区加曽利町1485-23 千葉市若葉区加曽利町1485-25			46人20人			
	定員数（共同生活援助）		A2階:10、B1階:10、B2階:10、C棟1階:10、C2階:10			(常勤換算後)(常勤換算後)			
	定員数（短期入所）		A1階:1、A2階:1、B1階:1、B2階:1、C棟1階:1、C2階:1			6.2人9.1人			
	共同生活住居数		6戸(1,2階×3戸)			看護師の配置☑有（ 3人） □無			
	【住居の内訳】		【定員数の内訳】			夜間			
	住居名：AMANEKU千葉加曽利町A棟		20名			夜間支援員			
	住居名：AMANEKU千葉加曽利町B棟		20名			31人			
	住居名：AMANEKU千葉加曽利町C棟		20名			(常勤換算後)			
	住居名：		名			5.0人			
	住居名：		名			看護師の配置☑有（ 1 人） □無			
	2 利用者状況 (令和8年6月9日現在)	障害支援区分		人数		内訳	主な障害種別利用者人数（重複はそれぞれ記入）		
非該当		0人		身体	総 数：13人 主に日中GHで過ごす人数：7人				
区分 1		0人			知的		総 数：21人 主に日中GHで過ごす人数：9人		
区分 2		0人		精神			総 数：13人 主に日中GHで過ごす人数：12人		
区分 3		5人			難病等		総 数：0人 主に日中GHで過ごす人数：0人		
区分 4		13人		その他			障害特性人数		
区分 5		15人					医療的ケアが必要な者0人		
区分 6		7人			強度行動障害がある者3人				
合計		40人							
年齢		人数							
～20代		6人							
30代		8人							
40代		5人							
50代		13人							
60代～		8人							

項目	評価の観点	【事業所記入欄】	評価・要望・助言（協議会記入欄）
3 利用者の主な日中の活動について	・ GH内で主にどのような日中サービスを提供しているか。	（日中をGH内で過ごす利用者に対する支援・サービスの内容） ・居室で過ごす方11名 共有スペースで過ごす方17名 ・レクリエーション（季節に合わせた催し物を月1で実施） ・散歩（希望がある方で職員同行で実施：約3名/日） ・職員と談笑、オセロなど遊戯 ・リビングでテレビやyoutubeなど見られる	
	・ 外部の日中活動サービス等の利用人数及び内容について。	利用人数40人中12人 （種類）主に生活介護を利用 （利用先）晴山苑5名、みらい工房1名、ひかりば2名、ドットステイ1名、アプリケアワークス1名、など （休日の過ごし方）居室で休まれたり、ご家族と外出や外泊、職員とコミュニケーション、リビングでTV鑑賞など	
4 地域に開かれた運営について	・利用者に対して外出や余暇活動の支援に努めているか。	駐車場内や近場を職員と散歩を実施 月に一度レクリエーション実施（法人で決まっている） （例：お祭り、ハロウィン、クリスマスパーティなど季節に合わせたもの） 施設独自の取り組みとして、7月は流しそうめんを実施	
	・家族や地域住民との交流の機会が確保されているか。	移動スーパー、移動パン屋、ヤクルト配達など 近隣住民が移動販売を利用することは無いが、夏祭りを今年は実施し、関係づくりを行いたいと思っている。	
	・体験的利用等のニーズに対応しているか。	（月平均の体験利用者数） 0～3人 （体験利用の事例） 他自治体から転居に伴う体験	
	・土日を含めた常時の支援体制が確保されているか。	日勤(9:00～19:00)、朝勤(6:00～11:00)、昼勤(11:00～16:00)、夜番(19:00～22:00)、夜勤(16:00～翌9:00)、夜間支援(22:00～翌6:00) の時間帯で各フロア1名以上の支援体制	
	・地域連携推進会議の開催状況は。	（令和7年度の開催日、構成員（人数）、会議の内容など） 開催時期：R7.17.(水) 構成員：利用者、家族、若葉区基幹相談支援センター:伊藤さん、桜が丘晴山苑:遠藤さん、桜が丘特別支援学校校長:鹿間さん JOCCA川戸相談員：安藤さん 参加人数：6名（利用者1名、家族：1名、上記委員各1名） 会議の内容：利用者の日常生活の様子や支援内容の説明。	
	・地域連携推進会議の構成員に対する見学機会の提供状況は。	（令和7年度の住居ごとの実施時期及び方法、見学内容など） 地域連携推進会議日に施設内の見学を実施、設備の説明や居室の見学	

項目	評価の観点	【事業所記入欄】	評価・要望・助言（協議会記入欄）
5 支援体制の確保・質の確保について	・支援の質の確保・向上に努めているか。（研修の実施など）	（実施・参加した研修名及び参加人数など） 月毎に社内研修、法廷研修を実施・（支援力の向上、コミュニケーション、虐待防止、身体拘束化適正、緊急時・災害、感染症全般、ハラスメント防止、BCP）	
	・実習生やボランティアを積極的に受け入れているか。	（受け入れ人数など） 実習生 9人、ボランティア 0人 その他（ ） 人	
	・災害時・緊急時の備えがなされているか。	（災害、急な体調不良などへの対応方法、訓練の実施状況など） BCPの策定、緊急時対応マニュアル策定、年2回移以上の避難、通報、消防訓練実施	
	・事故発生時の対応ができていますか。	（市に報告すべき案件について、主な内容・件数など） ケガや事故が発生した際（医療機関受診）、誤薬、利用者同氏の過失自己、自傷、他害行為、 行政報告17件、社内報告34件	
	・苦情対応ができていますか。	（利用者・家族・地域住民からの主な内容・件数など） ・ R7 5 件 ①施設の裏（住宅街へ）通り抜けられる道があり、そこから利用者が住宅街に来られ、敷地に入って来ないか不安。通り抜けられる道を塞いでほしい。 ②ゴミ箱の位置を変えて欲しい ③1人の利用者様が共有部にテレビを独占している ④他利用者様が夜中トイレに行く足音がうるさい ⑤利用者様が他利用者の居室に入ってしまう	
6 短期入所の併設について	地域で生活する障害者を積極的に受け入れているか。	（前年度の受入人数など） 37名	
	・緊急支援等の受け入れに対応しているか。	（受入体制、受入の対応など） ショートステイの居室が空いている際に対応可能	
7 他事業所との連携	相談支援事業者や他のサービス事業所との連携を行っているか。	（具体的な連携状況など） 入居者様のグループホームでの様子など定期的に連絡	
8 その他	・事業所独自の取り組みの有無	（その他、独自の工夫点がある場合記入） 設備のバリアフリー化、機械浴の設置、防犯上の観点から自動ドアの設置	